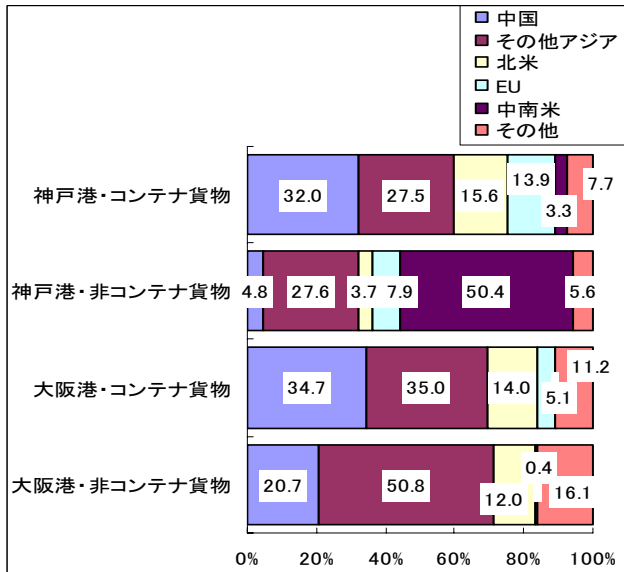


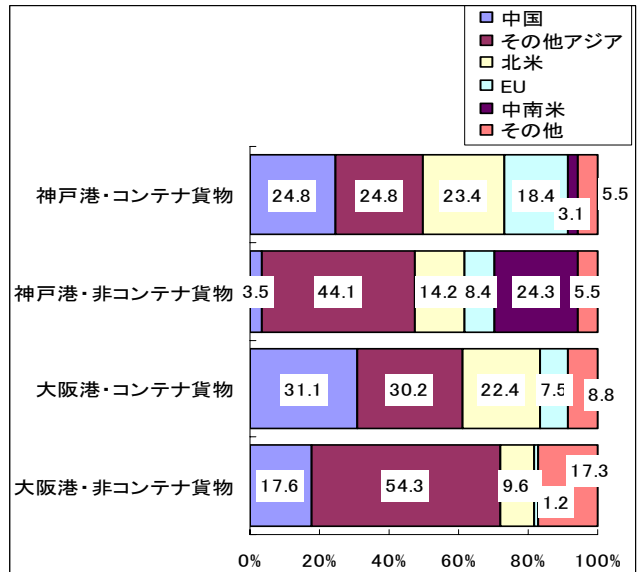
(20) 神戸港及び大阪港の輸出入相手国 (平成 15 年)

① 輸出相手国

<重量ベース>

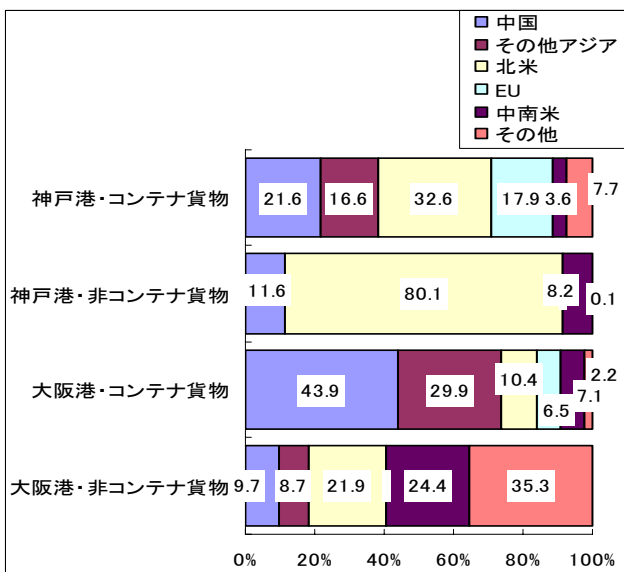


<金額ベース>

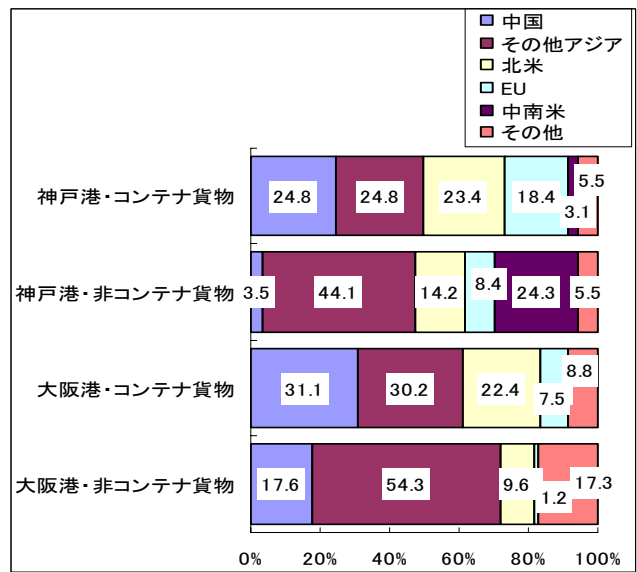


② 輸入相手国

<重量ベース>



<金額ベース>



「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成15年、財団法人日本関税協会)

(21) 神戸港及び大阪港のコンテナ貨物輸出入取扱品目ベスト10 (平成17年)

品目	単位:千トン	構成比
総数	7,284	1.00
1 産業機械	994	0.14
2 染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	842	0.12
3 再利用資材	734	0.10
4 電気機械	634	0.09
5 自動車部品	442	0.06
6 取合せ品	332	0.05
7 鋼材	332	0.05
8 紙・パルプ	313	0.04
9 ゴム製品	303	0.04
10 化学薬品	287	0.04

品目	単位:千トン	構成比
総数	20,633	1.00
1 衣服・身廻品・はきもの	4,426	0.21
2 電気機械	2,765	0.13
3 家具装備品	1,514	0.07
4 染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	1,056	0.05
5 製造食品	946	0.05
6 産業機械	962	0.05
7 金属製品	988	0.05
8 木製品	524	0.03
9 その他輸送機械	518	0.03
10 その他畜産品	512	0.02

品目	単位:千トン	構成比
総数	15,021	1.00
1 産業機械	2,260	0.15
2 染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	1,784	0.12
3 電気機械	1,445	0.10
4 自動車部品	1,382	0.09
5 化学薬品	918	0.06
6 完成自動車	761	0.05
7 取合せ品	668	0.04
8 化学薬品	593	0.04
9 再利用資材	522	0.03
10 その他繊維工業品	518	0.03

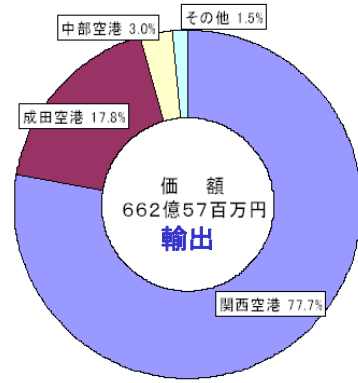
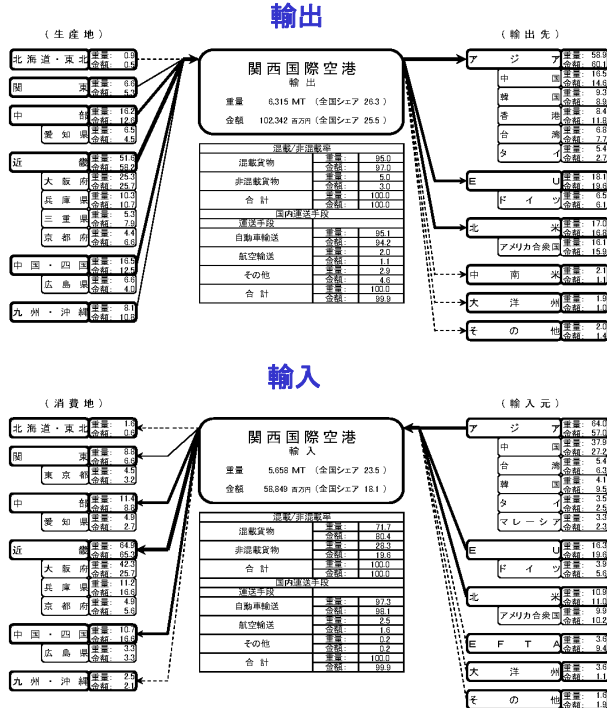
品目	単位:千トン	構成比
総数	16,994	1.00
1 衣服・身廻品・はきもの	1,845	0.11
2 製造食品	1,271	0.07
3 染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	1,140	0.07
4 家具装備品	1,048	0.06
5 電気機械	953	0.06
6 製材	913	0.05
7 動植物性製造飼肥料	898	0.05
8 野菜・果物	877	0.05
9 その他畜産品	666	0.04
10 紙・パルプ	604	0.04

出典:各港湾管理者統計(平成17年)

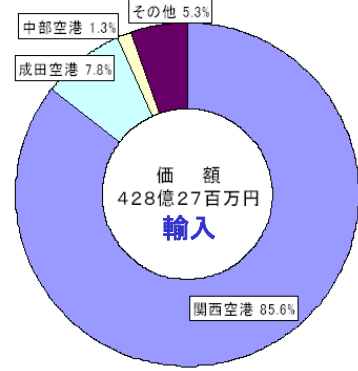
(22) 関西国際空港の現状

関西国際空港の物流図

関西国際空港は、輸出では金額で全国の航空貨物の約1/4、輸入では約1/5の比率を占め、成田国際空港と合わせると約9割となる。生産地及び消費地は近畿地方を中心に、中部地方、中国・四国地方がこれに続いている。



近畿圏を生産地とする航空輸出貨物の積込空港



近畿圏を消費地とする航空輸入貨物の積卸空港

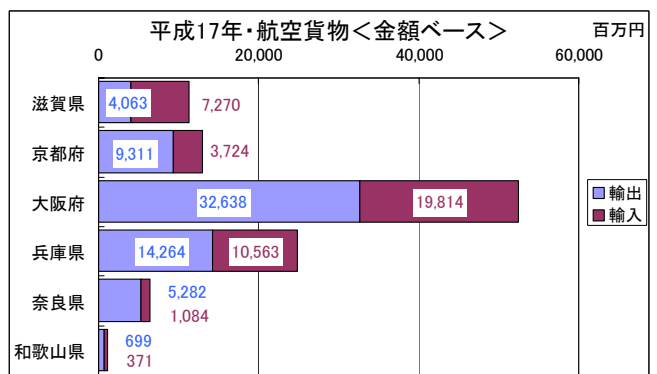
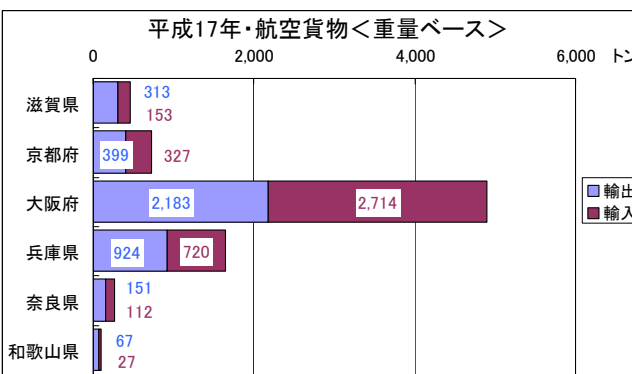
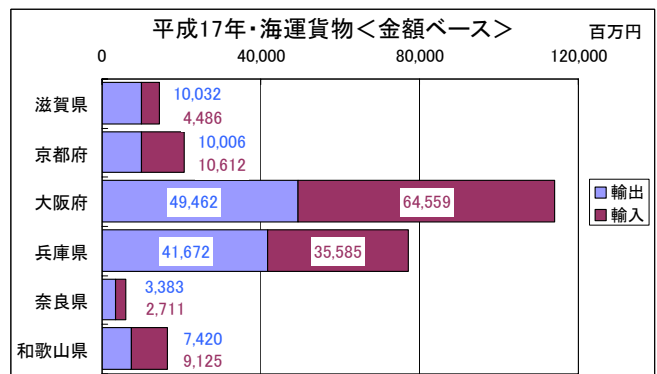
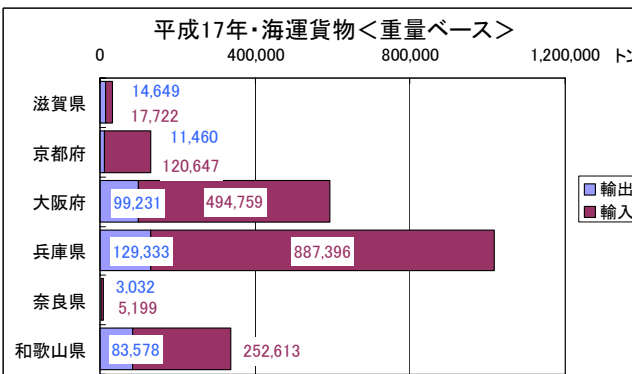
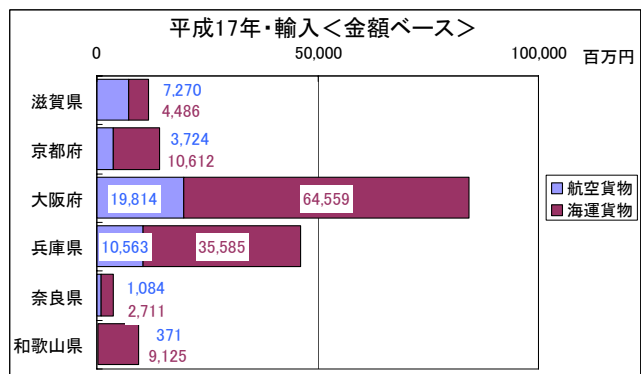
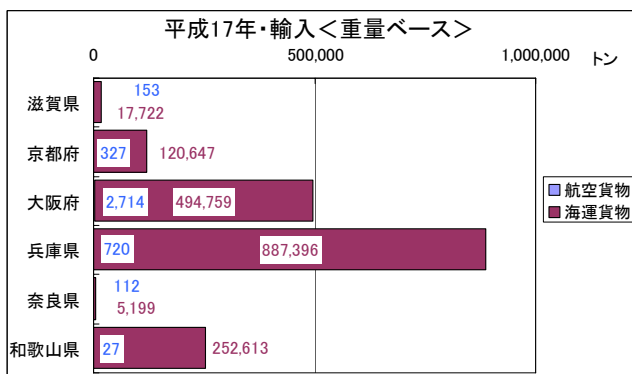
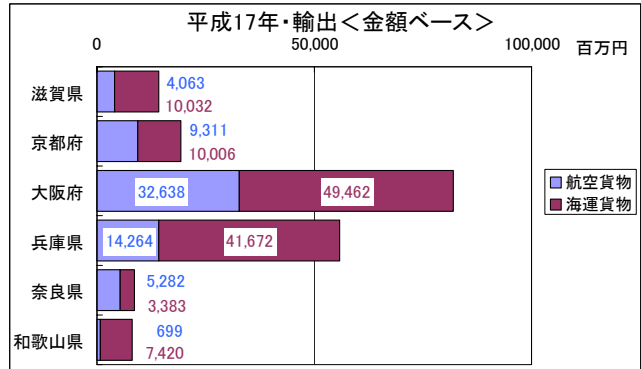
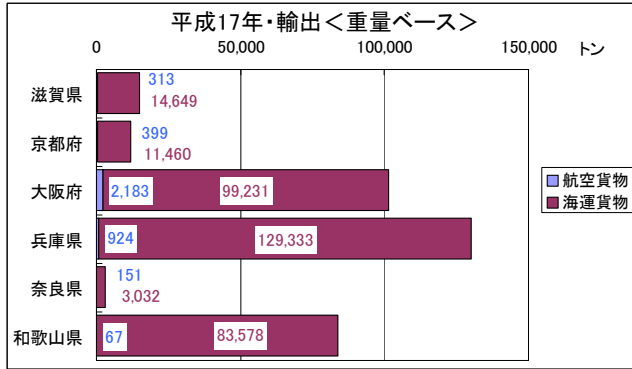
(注) 1. 表中の数字は、関西国際空港全体の輸出貨量(噸)又は輸入量(噸)を100とした場合のシェアである。
 (なお、小数点以下第1位の数字による計算であることから合計が必ずしも100にならない場合がある。)
 2. 1) 1) 国内シェアの数字は、全国の空港の輸出貨量(噸)又は輸入量(噸)を100とした場合のシェアである。
 2. 緑の部分は、次のとおり 〓 30%以上、〓 10%以上30%未満、〓 5%以上10%未満、〓 5%未満

「輸出入貨物の物流動向調査」(平成17年9月1日(水)~9月7日(水)、財務省関税局及び大阪税関資料)

2.3 近畿地方の貿易における海運貨物と航空貨物の比較

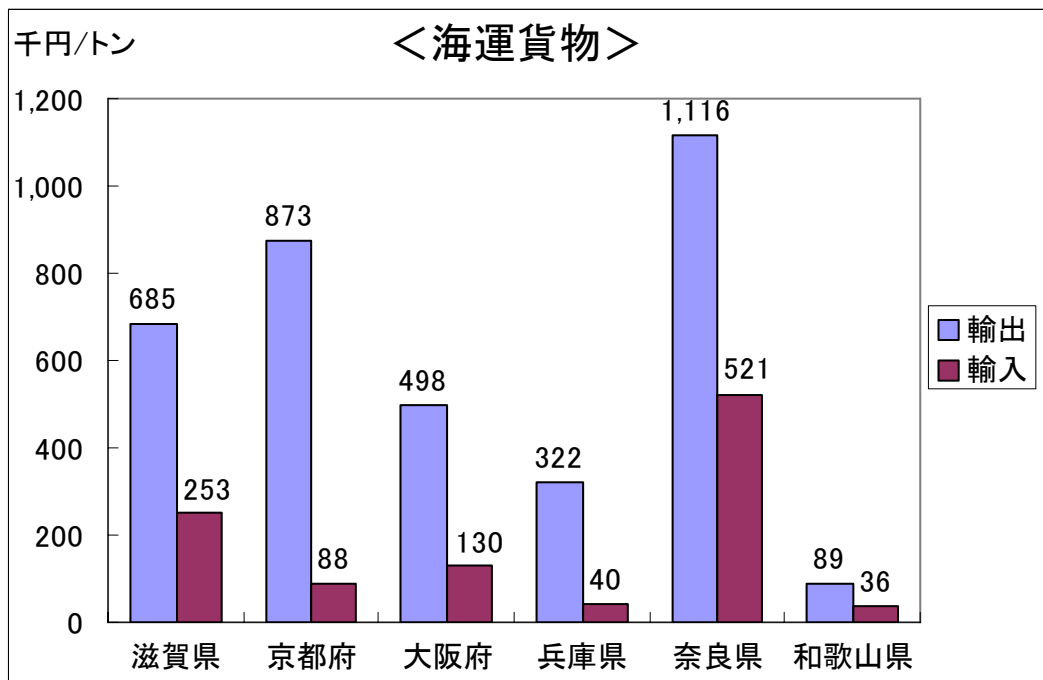
近畿2府4県の比較を以下に示す。

(1) 各府県の貿易における航空貨物と海運貨物の割合（平成17年）



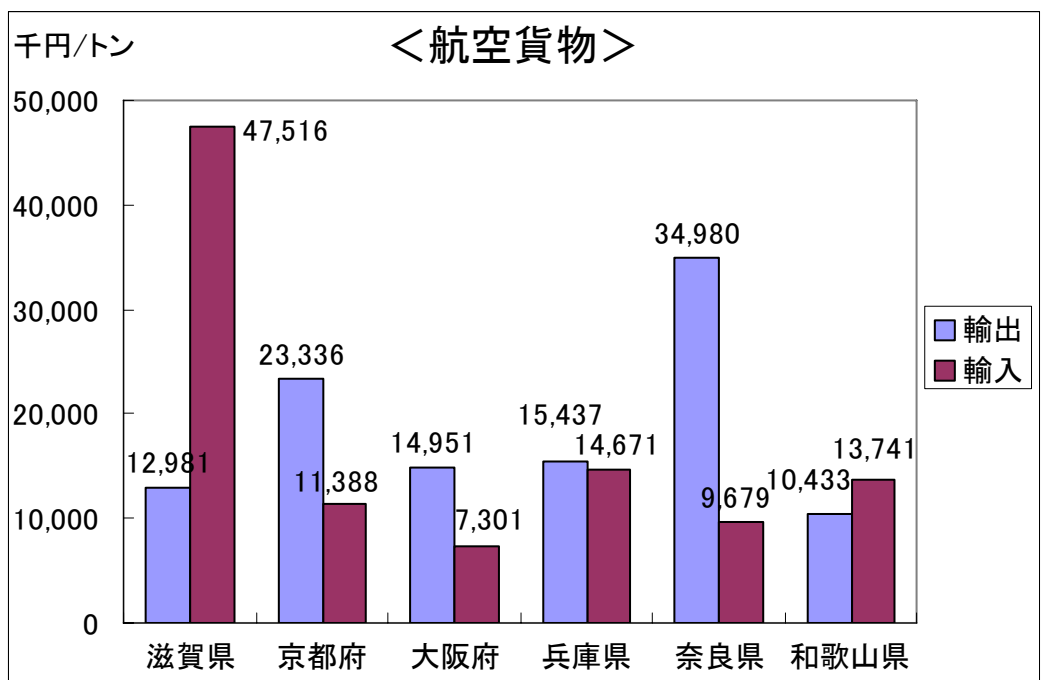
「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)~7日(水)、財務省関税局)

(2) 各府県の実輸貨物における輸出入別単価（平成17年）



「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)～7日(水)、財務省関税局)

(3) 各府県の実空貨物における輸出入別単価（平成17年）

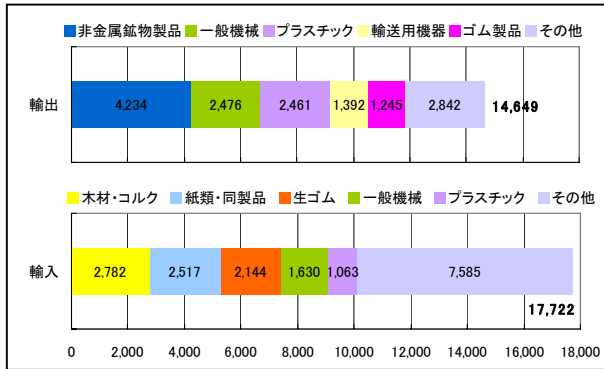


「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)～7日(水)、財務省関税局)

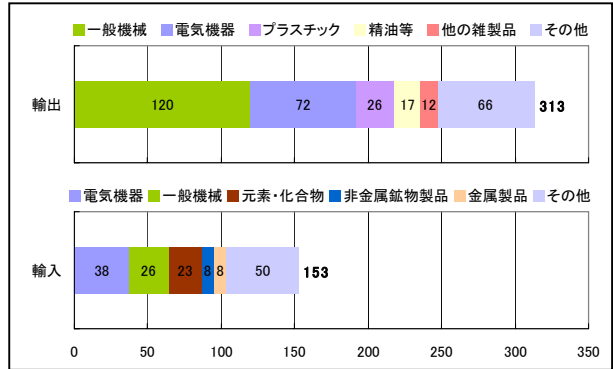
(4) 各県の貿易における輸出入別上位品目 (平成17年)

① 滋賀県

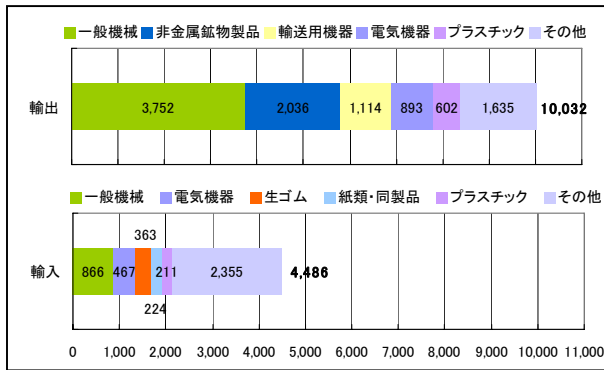
<海運貨物・重量ベース(トン)>



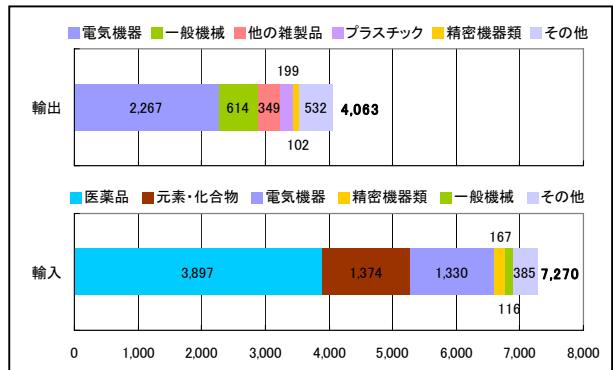
<航空貨物・重量ベース(トン)>



<海運貨物・金額ベース(百万円)>

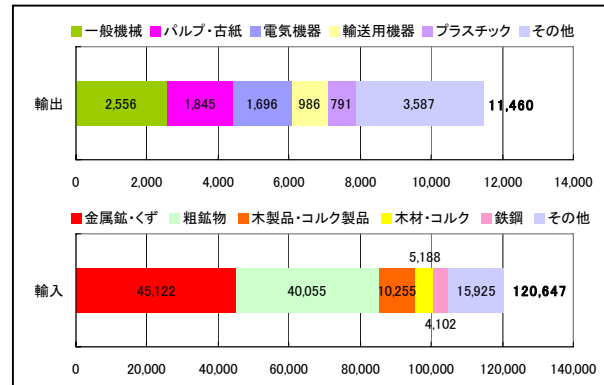


<航空貨物・金額ベース(百万円)>

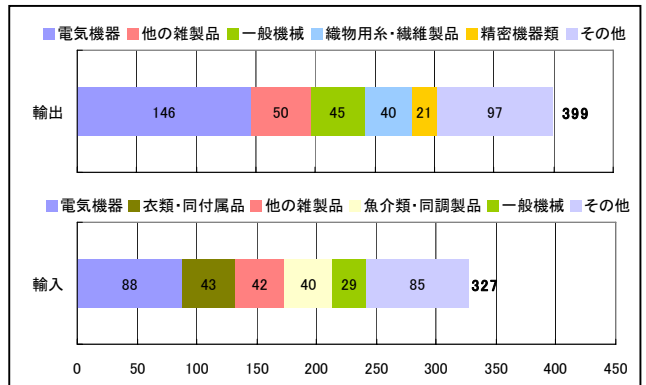


② 京都府

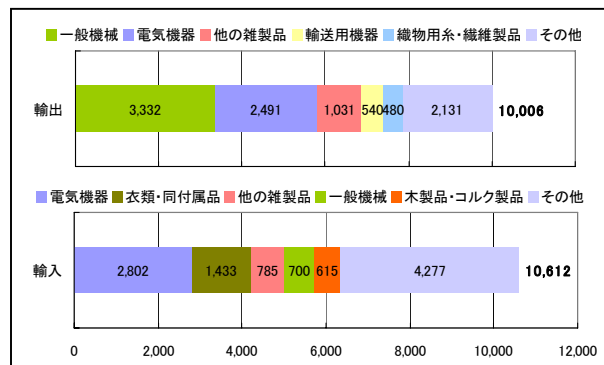
<海運貨物・重量ベース(トン)>



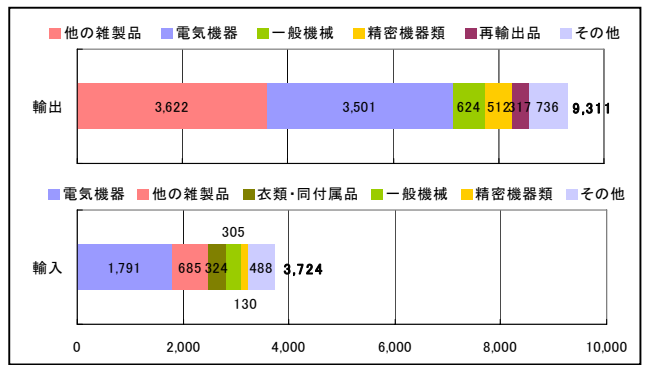
<航空貨物・重量ベース(トン)>



<海運貨物・金額ベース(百万円)>



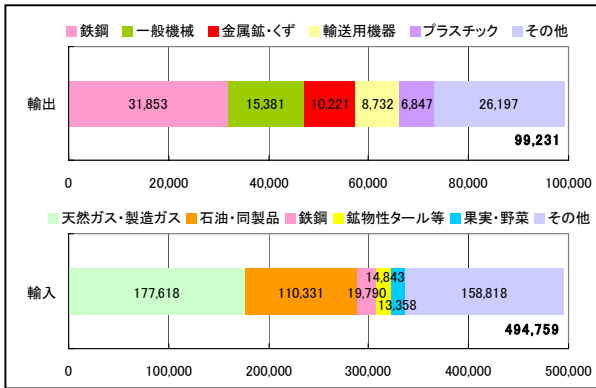
<航空貨物・金額ベース(百万円)>



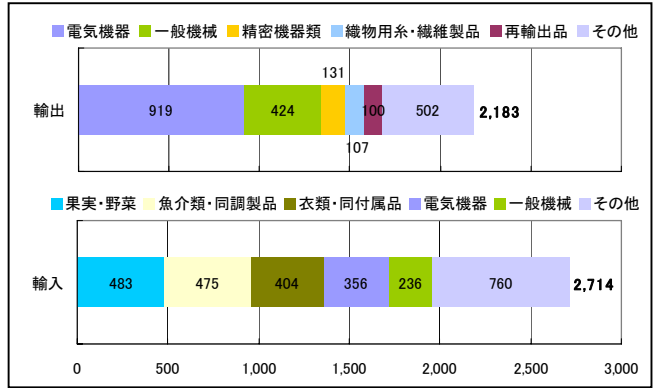
「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)~7日(水)、財務省関税局)

③大阪府

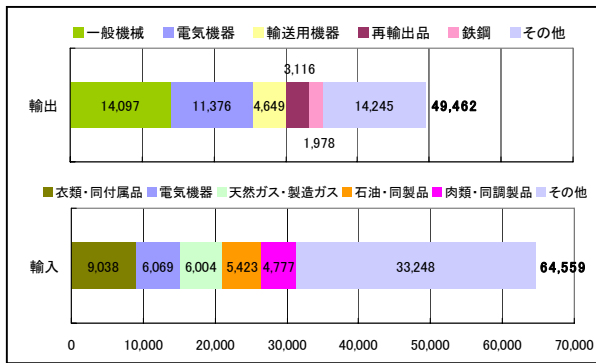
＜海運貨物・重量ベース(トン)＞



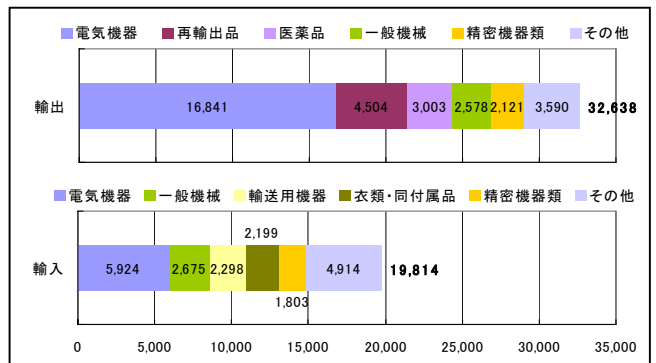
＜航空貨物・重量ベース(トン)＞



＜海運貨物・金額ベース(百万円)＞

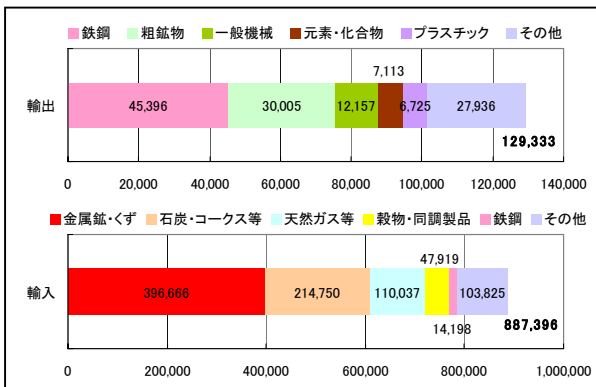


＜航空貨物・金額ベース(百万円)＞

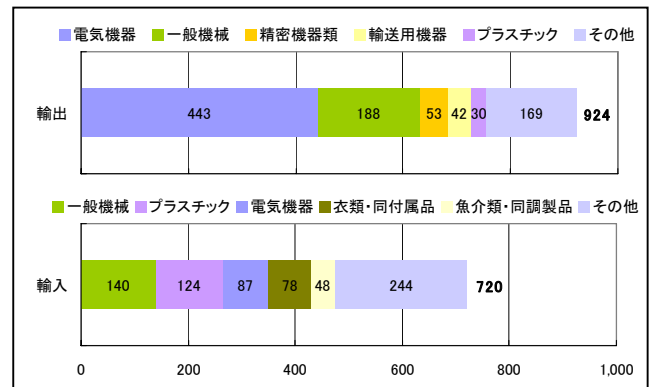


④兵庫県

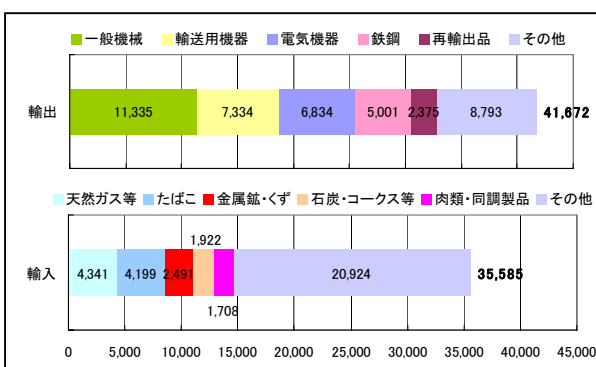
＜海運貨物・重量ベース(トン)＞



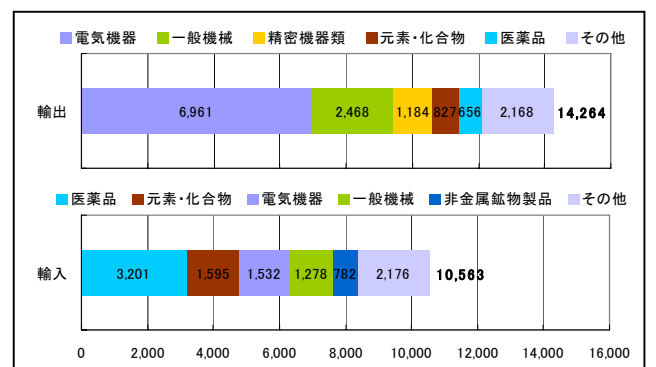
＜航空貨物・重量ベース(トン)＞



＜海運貨物・金額ベース(百万円)＞



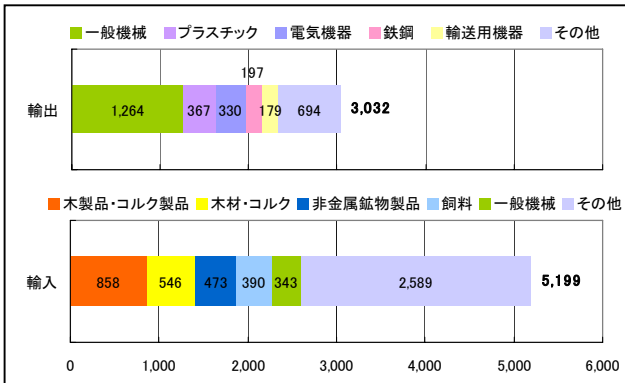
＜航空貨物・金額ベース(百万円)＞



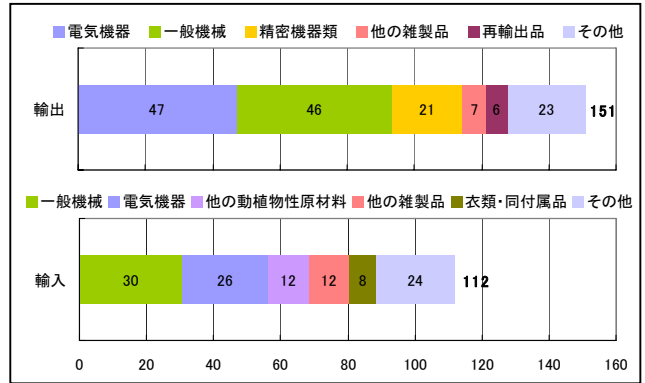
「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)~7日(水)、財務省関税局)

⑤奈良県

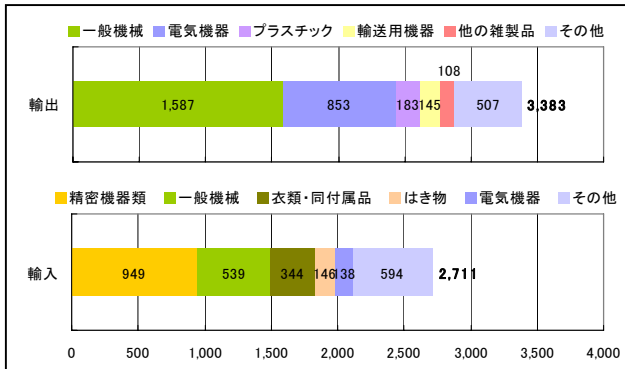
＜海運貨物・重量ベース(トン)＞



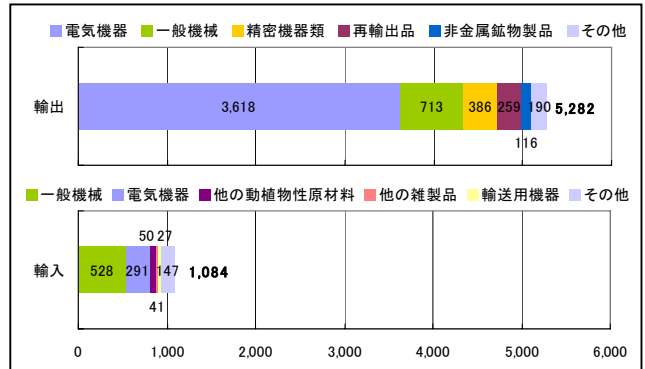
＜航空貨物・重量ベース(トン)＞



＜海運貨物・金額ベース(百万円)＞

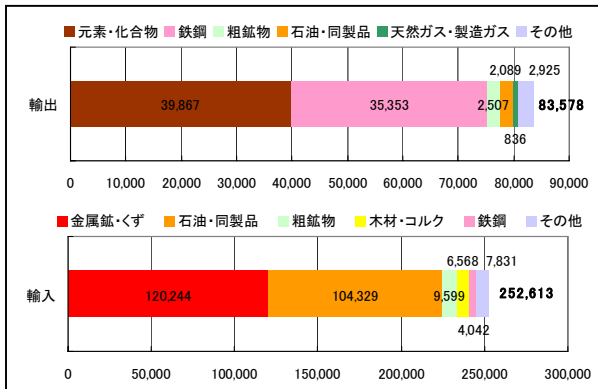


＜航空貨物・金額ベース(百万円)＞

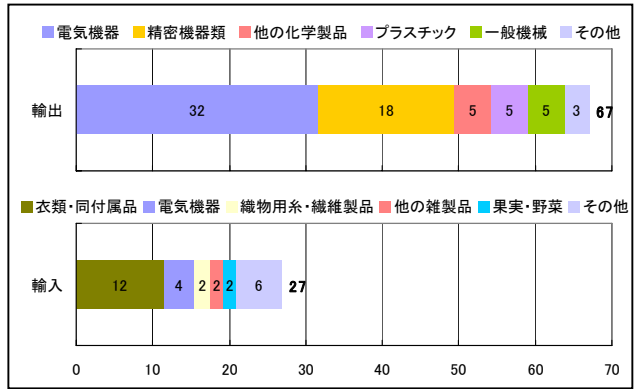


⑥和歌山県

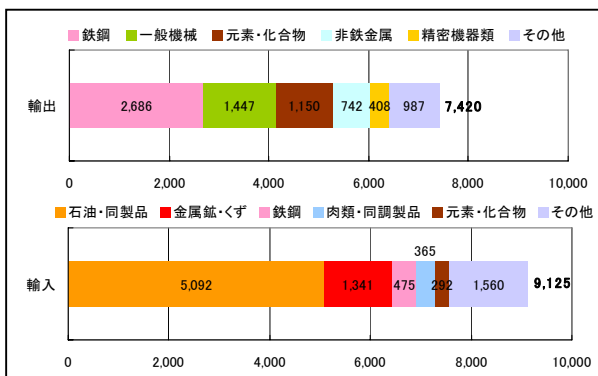
＜海運貨物・重量ベース(トン)＞



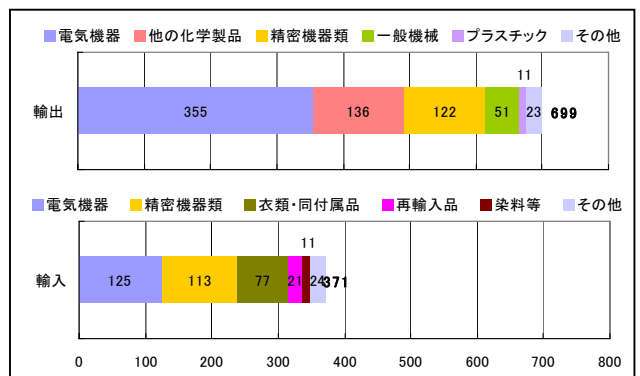
＜航空貨物・重量ベース(トン)＞



＜海運貨物・金額ベース(百万円)＞



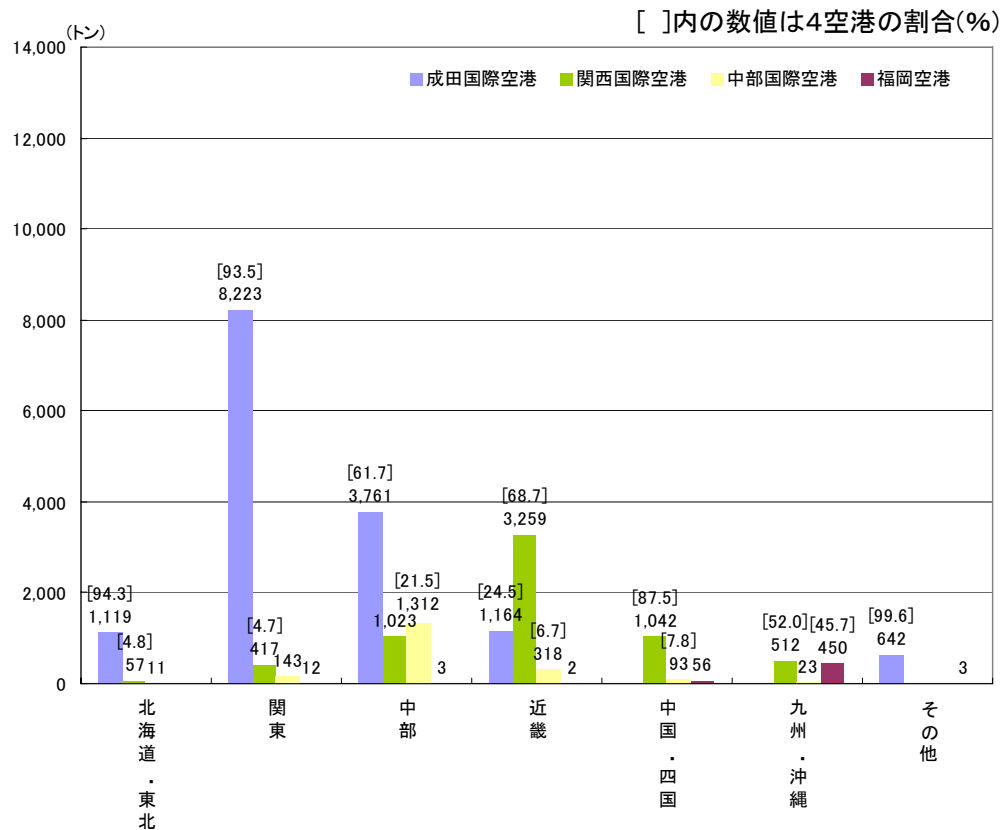
＜航空貨物・金額ベース(百万円)＞



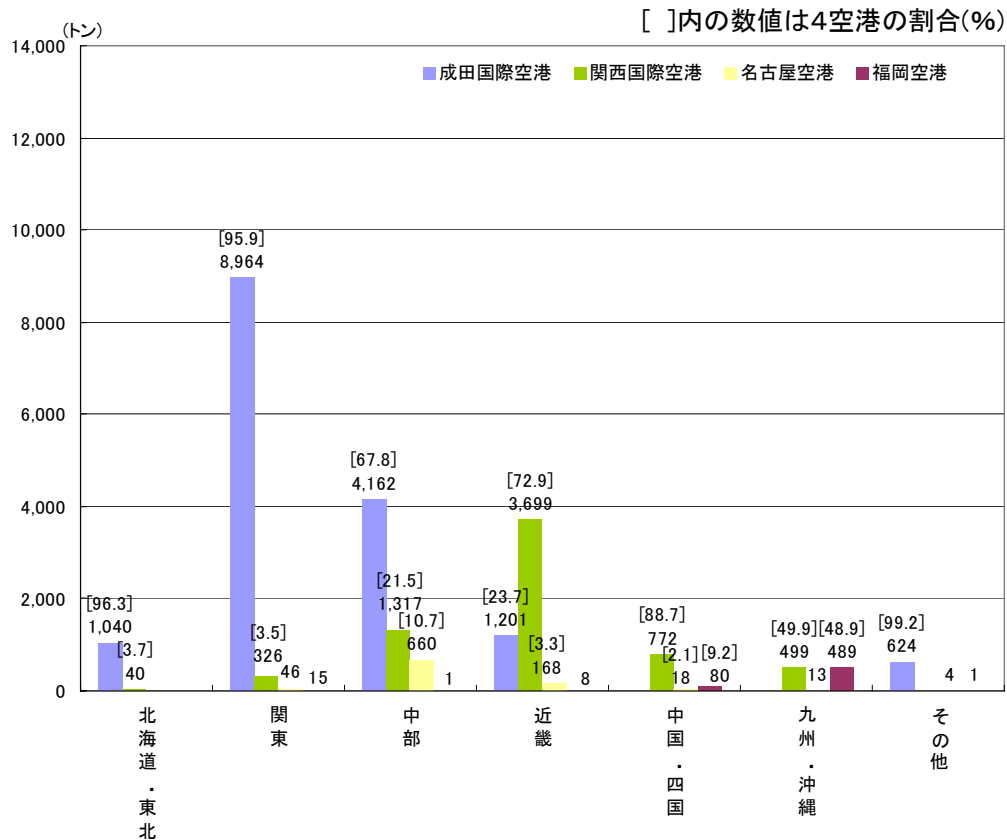
「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)～7日(水)、財務省関税局)

(5) 航空貨物における空港利用地域の割合（平成17年）

①平成17年・輸出・重量ベース

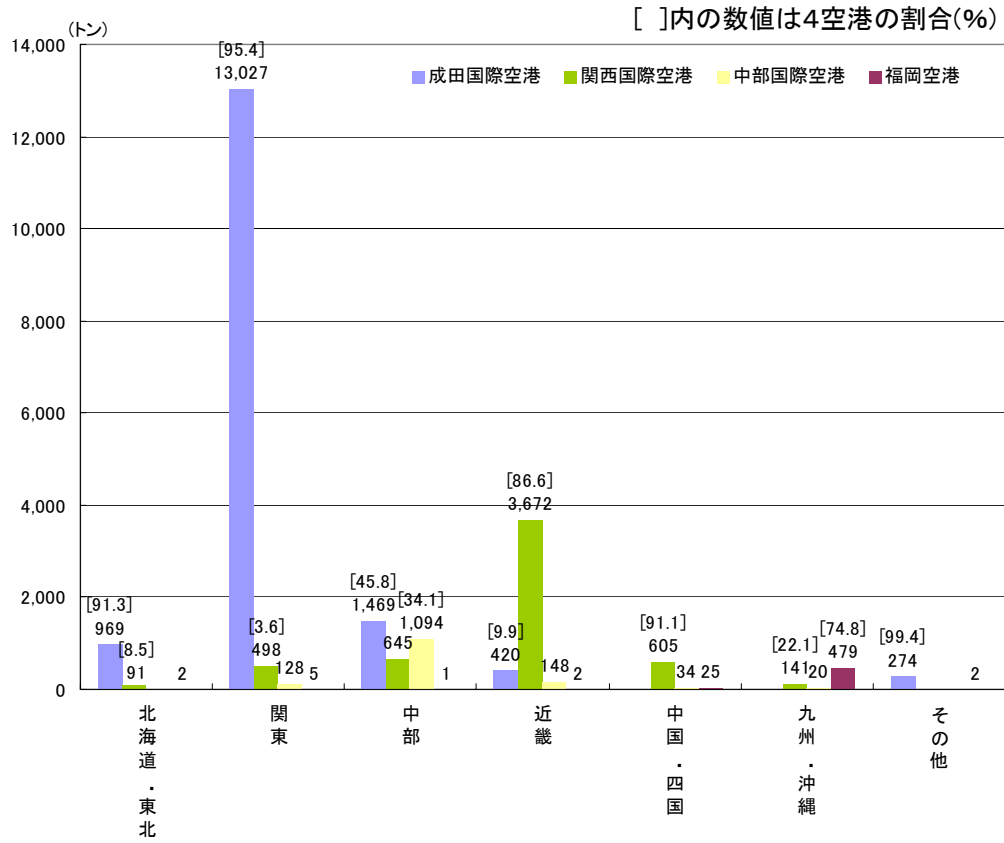


②平成16年・輸出・重量ベース

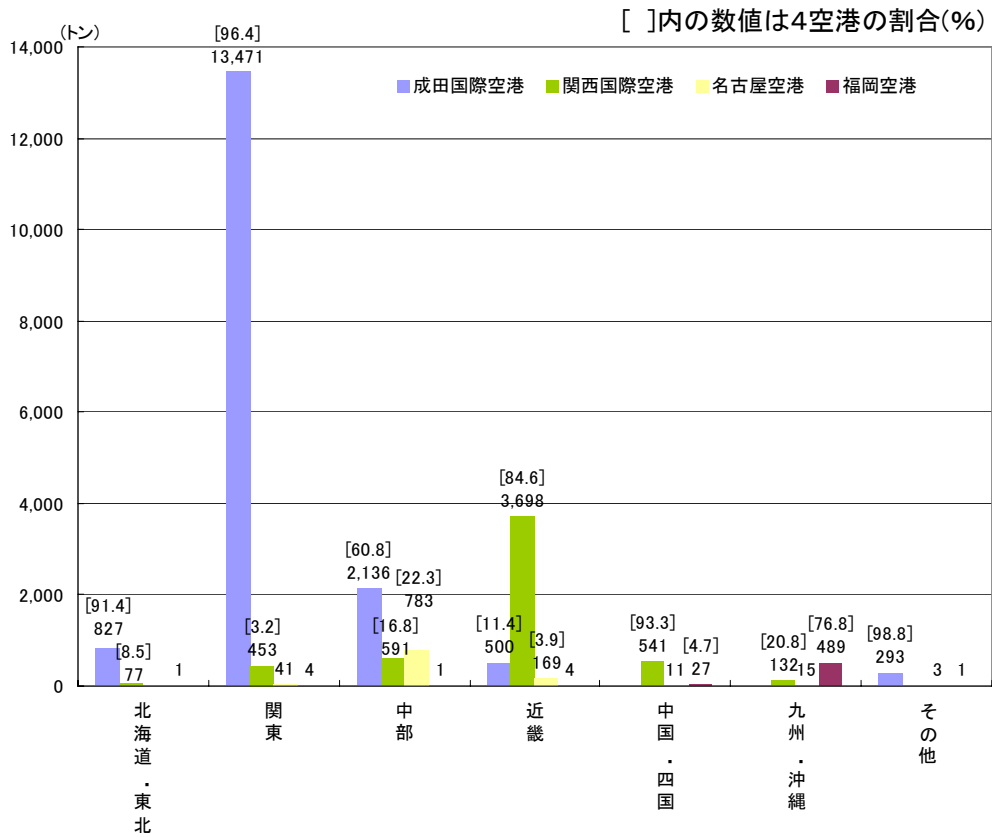


「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)～7日(水)、財務省関税局)

③平成17年・輸入・重量ベース

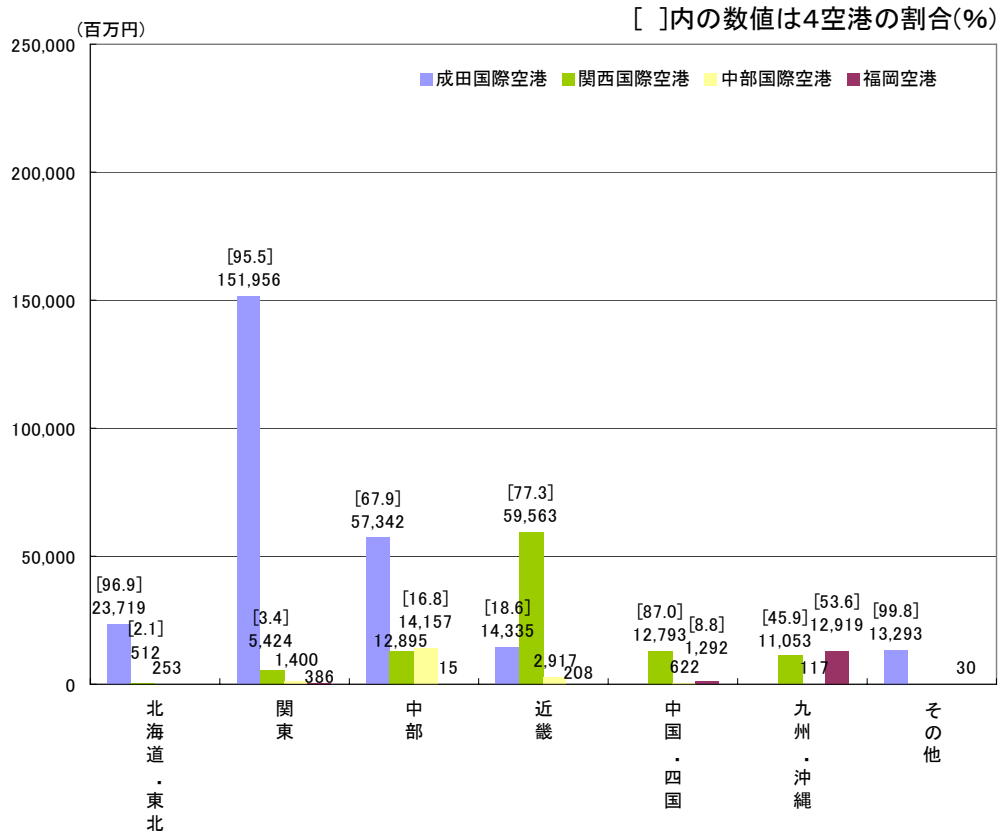


④平成16年・輸入・重量ベース

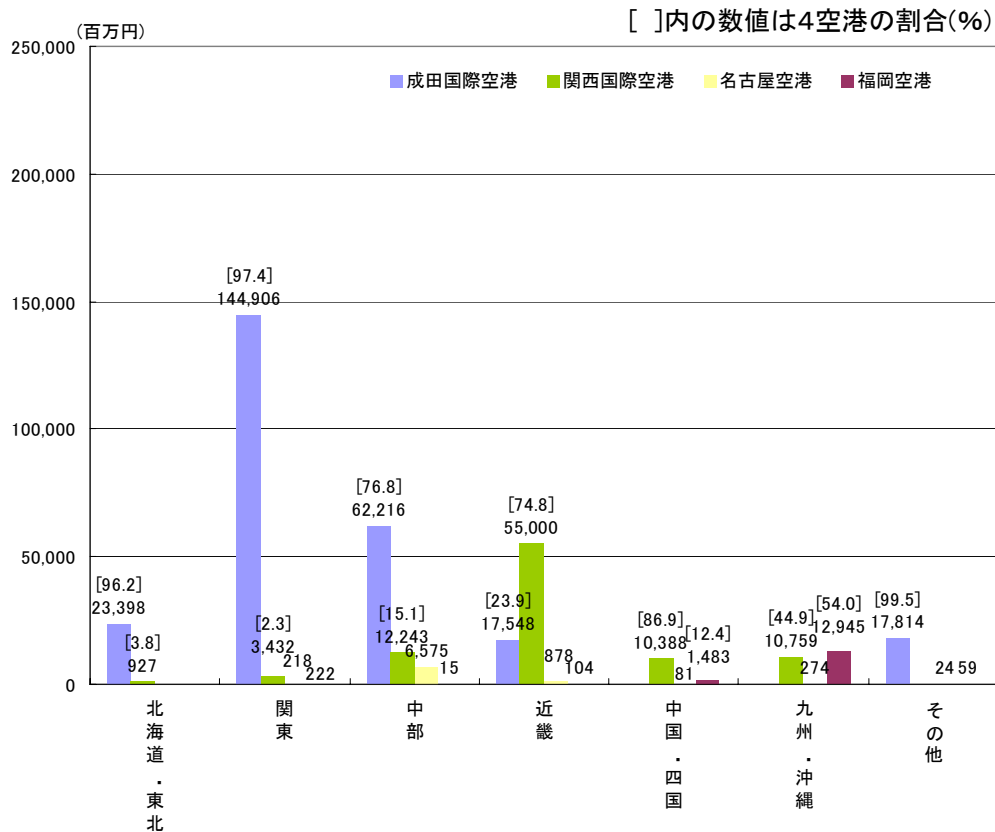


「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)~7日(水)、財務省関税局)

⑤平成17年・輸出・金額ベース

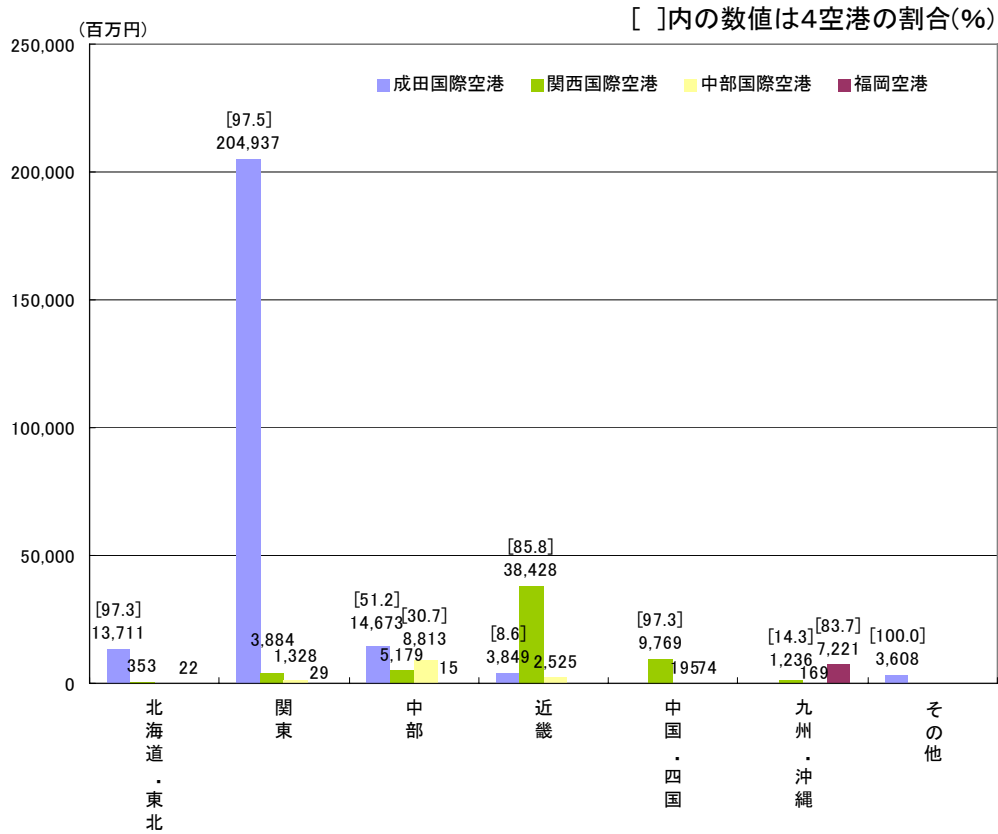


⑥平成16年・輸出・金額ベース

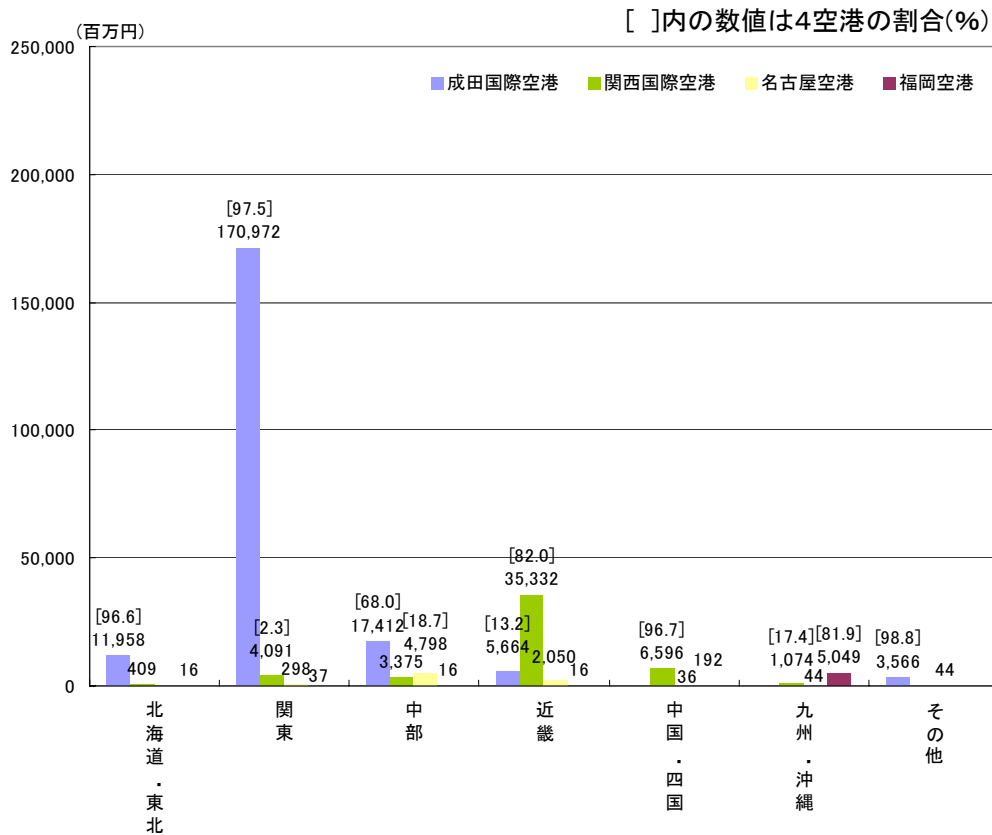


「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)~7日(水)、財務省関税局)

⑦平成17年・輸入・金額ベース



⑧平成16年・輸入・金額ベース



「輸出入貨物に係る物流動向調査」(平成17年9月1日(水)～7日(水)、財務省関税局)

2.4 西日本を起終点とする外貿コンテナ貨物

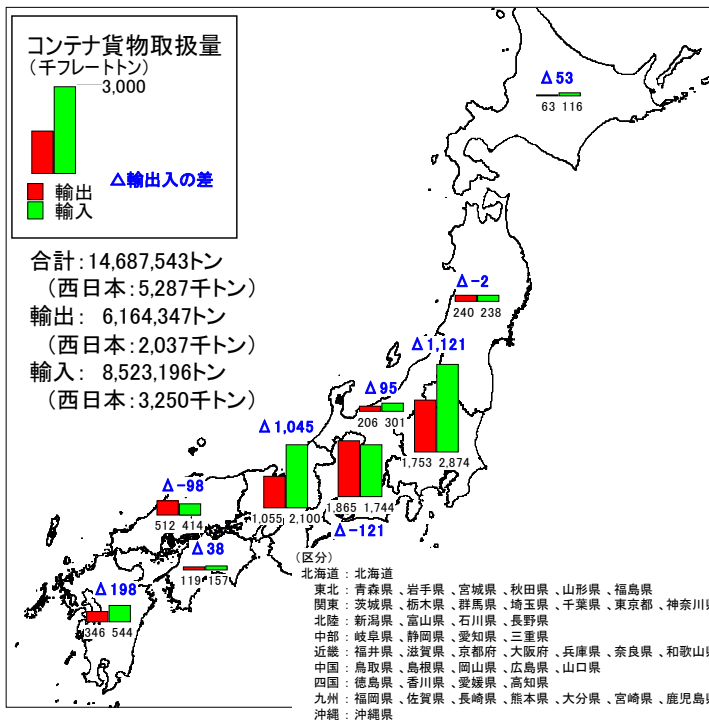
統計資料より西日本の外貿コンテナの動きについて以下に示す。

(1) 西日本を起終点とする外貿コンテナ貨物の総量

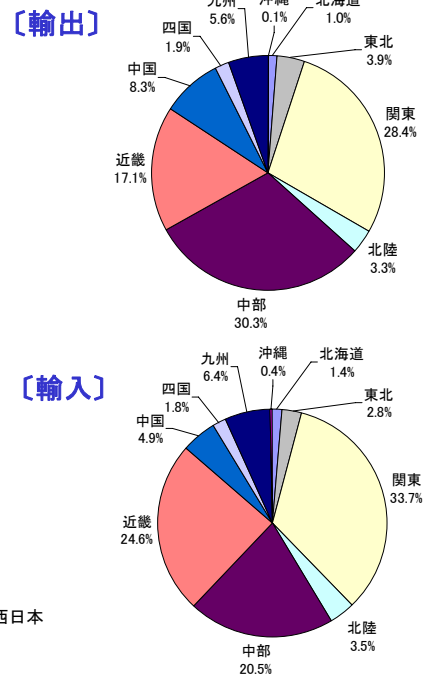
① 地方別

- ・輸出は中部地方、輸入は関東地方、合計では関東地方での取扱が最も多い。
- ・西日本を起終点とする貨物は、輸出 2,037 千トン(全国シェア 33.0%)、輸入 3,250 千トン(全国シェア 38.1%)、計 5,287 千トン。

生産地・消費地(地方)別の外貿コンテナ貨物量



生産地・消費地(地方)別の外貿コンテナ取扱シェア



② 府県別

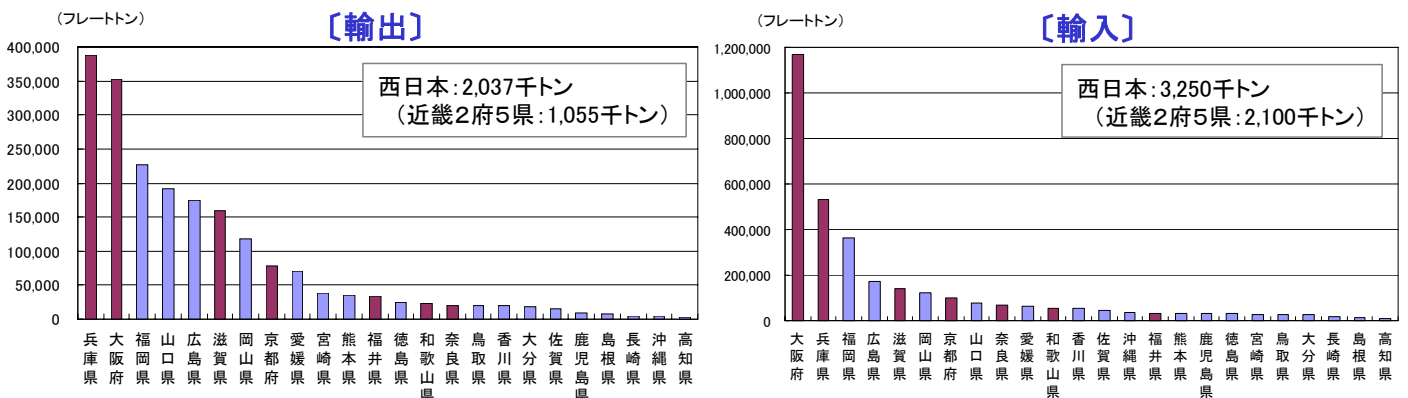
府県別に見た場合

- ・輸出コンテナ貨物は、兵庫県、次いで大阪府が多い。両府県で 740 千トン(近畿の約7割、西日本の約 1/3)
- ・輸入コンテナ貨物は、大阪府が最も多く、次いで兵庫県が多い。両府県で 1,701 千トン(近畿の約8割、西日本の約5割)

(区分)

北海道: 北海道
東北: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
北陸: 新潟県、富山県、石川県、長野県
中部: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿: 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄: 沖縄県

西日本の生産地・消費地(府県)別外貿コンテナ貨物量

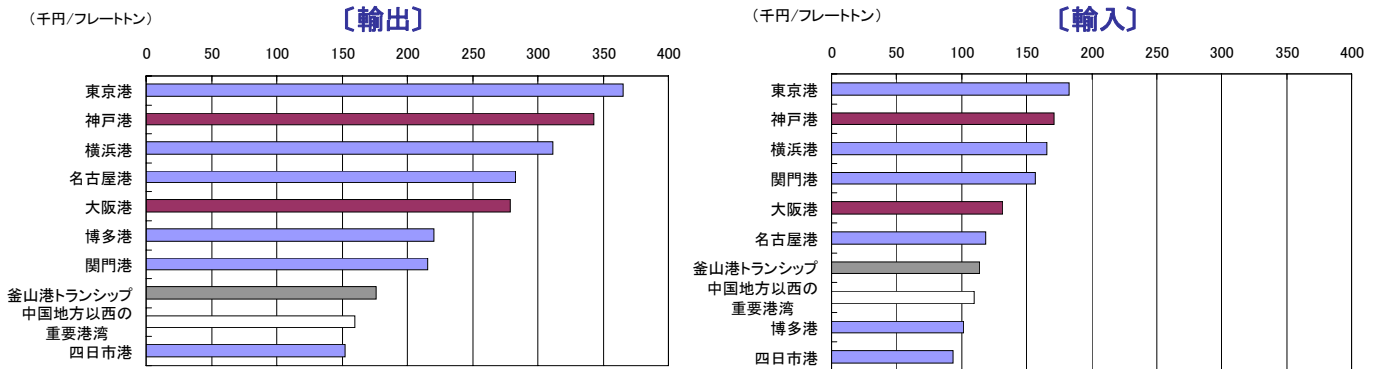


(資料)国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

(2) 主要港湾における取扱コンテナ貨物の価値

- ・神戸港の外貿コンテナ貨物は輸出・輸入ともに、取扱量当たりの申告価格が東京港と並んで高く、釜山港でのトランシップや中国地方以西の重要港湾より高価な貨物を取り扱っている。
- ・大阪港も神戸港ほどではないが輸出・輸入ともに、取扱量当たりの申告価格が、釜山港トランシップや中国地方以西の重要港湾を上回り、高価な貨物を取り扱っている。

船積卸港別・トランシップ港(釜山)別取扱量当たりの申告価格



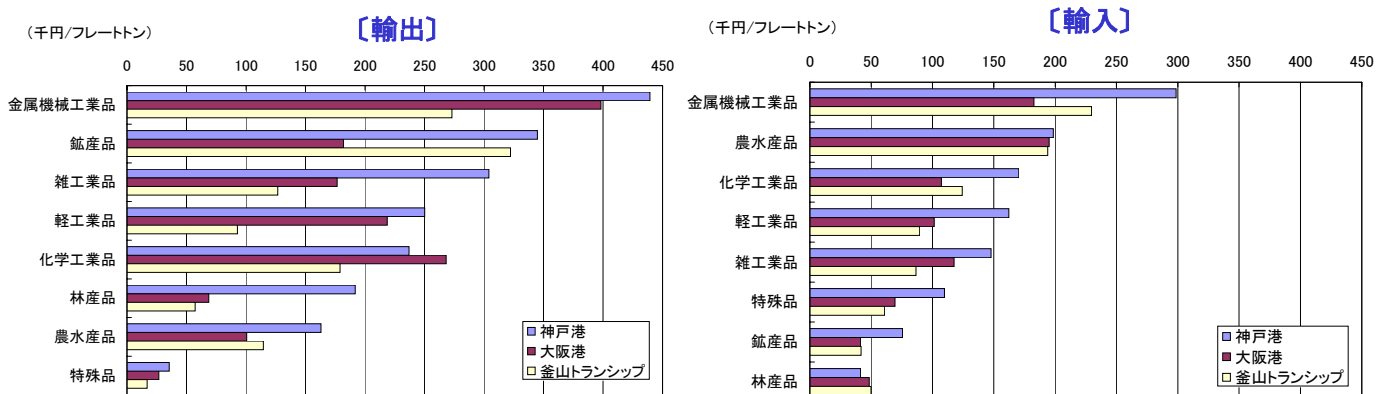
(注) 各港の値には、釜山港トランシップも含まれる。釜山港トランシップとは、生産・消費国が韓国以外で、釜山港でトランシップされ、日本に輸出入される貨物。

(資料) 国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

(3) 神戸港・大阪港・釜山港トランシップにおける取扱コンテナ貨物の品目別価値

- ・神戸港の外貿コンテナ貨物は、輸出入ともにほぼ全ての品目で大阪港や釜山港トランシップに比べ取扱量当たりの申告価格が高い。品目にかかわらず神戸港には高価値の貨物が集まっている。
- ・大阪港は品目毎に取扱量当たりの申告価格が高かったり低くなったりする。
- ・釜山港トランシップ貨物は、神戸港・大阪港と比較するとほとんどの品目で取扱量当たりの申告価格は低い。

神戸港・大阪港・釜山港トランシップの品類(大分類)別取扱量当たりの申告価格

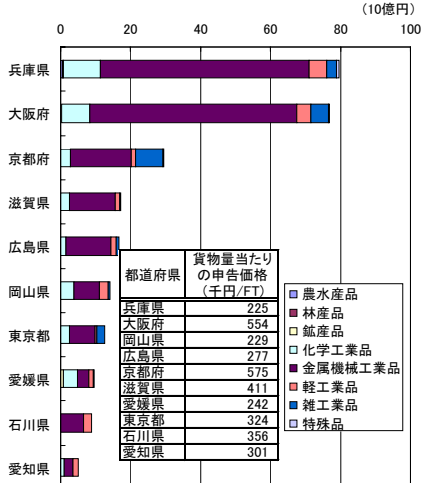


(資料) 国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

(4) 神戸港から船積されるコンテナ貨物の分析 (輸出)

・神戸港の輸出貨物における貨物量当たりの申告価格は、生産地別に見ると、京都府が最も高く、大阪府が続いている。
 仕向国別に見ると、ドイツ、メキシコ、オランダが高い。
 →神戸港では、主に京都府や大阪府から単価の高い貨物が欧州へ輸出されている。
 ・中国へは比較的単価の安い貨物が輸出されている。

生産地別、品別申告価格合計 (上位10都道府県、申告価格ベース)



仕向地域・国別貨物量、申告価格、単価と上位品類

地域	仕向国	貨物量 (フレートトン)	申告価格 (百万円)	単価 (千円/FT)	上位品類
アジア州	中国	238,447	69,508	292	金属機械工業品、化学工業品、軽工業品
	香港	63,171	27,599	437	
	台湾	50,681	20,643	407	
	計	626,953	194,427	310	
アフリカ州	南アフリカ	4,675	1,038	222	金属機械工業品、軽工業品、化学工業品
	エジプト	4,228	886	209	
ヨーロッパ州	計	17,608	3,465	197	金属機械工業品、化学工業品、雑工業品
	ドイツ	21,695	11,916	549	
	オランダ	18,484	9,775	529	
	イギリス	25,460	9,097	357	
	計	135,845	58,828	433	
大洋州	ニュージーランド	7,528	725	96	金属機械工業品、軽工業品、雑工業品
	オーストラリア	3,311	592	179	
南アメリカ州	計	12,434	1,702	137	金属機械工業品、化学工業品、雑工業品
	ブラジル	5,986	2,948	493	
	ペネズエラ	10,877	1,036	95	
	コロンビア	4,406	613	139	
北アメリカ州	計	24,564	5,822	237	金属機械工業品、雑工業品、化学工業品
	アメリカ	140,678	63,707	453	
	カナダ	7,710	2,712	352	
	メキシコ	4,394	2,353	536	
全世界	計	158,000	70,254	445	
全世界	計	975,404	334,498	343	

高額品類(全体平均の1.5倍以上)

ドイツ: 鉱産品、オランダ: 鉱産品と雑工業品、メキシコ: 金属機械工業品

(資料) 国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

(5) 神戸港で船卸されるコンテナ貨物の分析 (輸入)

・神戸港の輸入貨物における貨物量当たりの申告価格は、仕出国別に見ると、ドイツ、デンマーク、フランス、インドネシア、メキシコが高い。
 消費地別に見ると、香川県が最も高く、東京都が続いている。
 →神戸港では、主に欧州から単価の高い貨物が香川県や東京都向けに輸入されている。
 ・中国からは単価の安い貨物が輸入されている。

仕出地域・国別貨物量、申告価格、単価と上位品類

地域	仕出国	貨物量 (フレートトン)	申告価格 (百万円)	単価 (千円/FT)	上位品類
アジア州	中国	341,975	47,312	138	雑工業品、金属機械工業品、軽工業品
	インドネシア	23,248	7,003	301	
	タイ	40,065	5,952	149	
	計	530,246	82,135	155	
アフリカ州	南アフリカ	3,653	479	131	農水産品、金属機械工業品、鉱産品
	エジプト	1,033	59	57	
	計	13,884	2,370	171	
ヨーロッパ州	ドイツ	19,405	7,887	406	金属機械工業品、軽工業品、化学工業品
	フランス	17,883	5,638	315	
	デンマーク	13,874	5,202	375	
	計	147,593	36,095	245	
大洋州	ニュージーランド	9,641	1,332	138	農水産品、軽工業品、化学工業品
	オーストラリア	9,729	602	62	
	計	19,807	2,073	105	
南アメリカ州	ブラジル	16,616	3,141	189	農水産品、金属機械工業品、軽工業品
	チリ	8,947	2,005	224	
	アルゼンチン	1,301	245	189	
	計	30,548	5,896	193	
北アメリカ州	アメリカ	212,281	36,643	173	軽工業品、農水産品、化学工業品
	カナダ	37,391	3,644	97	
	メキシコ	5,647	1,452	257	
	計	256,860	42,013	164	
全世界	計	998,938	170,581	171	

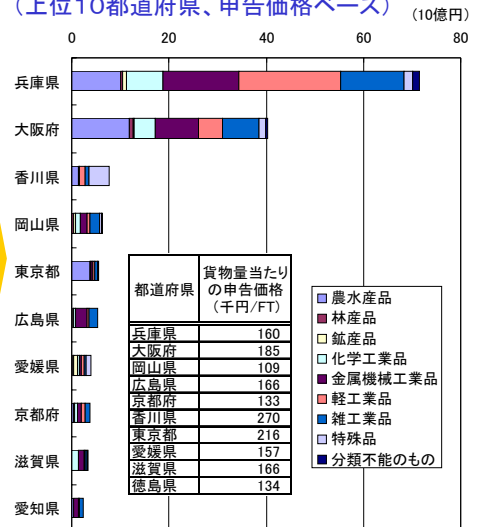
高額品類(全体平均の1.5倍以上)

インドネシア: 特殊品、ドイツ: 金属機械工業品、フランス: 鉱産品、

デンマーク: 農水産品、メキシコ: 金属機械工業品

(資料) 国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

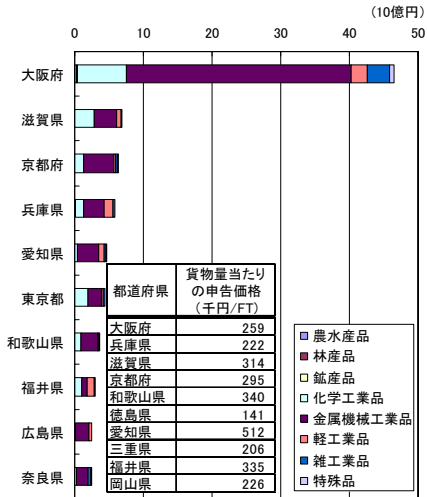
消費地別、品別申告価格合計 (上位10都道府県、申告価格ベース)



(5) 大阪港から船積されるコンテナ貨物の分析（輸出）

・大阪港の輸出貨物における貨物量当たりの申告価格は、生産地別に見ると、愛知県が最も高く、和歌山県が続いている。
 仕向国別に見ると、オランダが最も高く、フランス、ドイツ、韓国が続いている。
 →大阪港では、主に愛知県や和歌山県から単価の高い貨物が欧州へ輸出されている。
 ・中国へは比較的単価の安い貨物が輸出されている。

生産地別、品別申告価格合計
 (上位10都道府県、申告価格ベース)



仕向地域・国別貨物量、申告価格、単価と上位品類

地域	仕向国	貨物量 (フレートトン)	申告価格 (百万円)	単価 (千円/FT)	上位品類
アジア州	中国	93,110	24,028	258	金属機械工業品、化学工業品、軽工業品
	韓国	28,323	13,045	461	
	台湾	31,092	10,351	333	
	計	267,604	71,057	266	
アフリカ州	南アフリカ	790	185	234	金属機械工業品、雑工業品、農水産品
	エジプト	434	150	346	
ヨーロッパ州	ドイツ	5,000	2,478	496	金属機械工業品、化学工業品、雑工業品
	オランダ	2,703	2,072	767	
	フランス	1,411	743	526	
	計	20,512	8,294	404	
大洋州	オーストラリア	21,202	5,981	282	金属機械工業品、化学工業品、雑工業品
	ニュージーランド	1,100	195	177	
南アメリカ州	ブラジル	255	49	193	金属機械工業品、雑工業品、化学工業品
	コロンビア	599	39	65	
	アルゼンチン	389	38	97	
	計	2,019	254	126	
北アメリカ州	アメリカ	45,562	15,030	330	金属機械工業品、化学工業品、雑工業品
	カナダ	5,033	1,675	333	
	メキシコ	3,766	468	124	
	計	55,391	17,729	320	
全世界	計	372,159	103,904	279	

高額品類(全体平均の1.5倍以上)

韓国: 金属機械工業品、ドイツ: 農水産品と金属機械工業品

オランダ: 金属機械工業品、フランス: 金属機械工業品

(資料) 国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

(6) 大阪港で船卸されるコンテナ貨物の分析（輸入）

・大阪港の輸入貨物における貨物量当たりの申告価格は、仕出国別に見ると、南アフリカ、デンマーク、アルゼンチン、ロシア、オーストラリアが高い。
 消費地別に見ると、岐阜県が最も高く、愛知県が続いている。
 →大阪港では、主にアフリカ州や大洋州から単価の高い貨物が岐阜県や愛知県向けに輸入されている。
 ・中国からは比較的単価の安い貨物が輸入されている。

仕出地域・国別貨物量、申告価格、単価と上位品類

地域	仕出国	貨物量 (フレートトン)	申告価格 (百万円)	単価 (千円/FT)	上位品類
アジア州	中国	869,801	106,677	123	雑工業品、金属機械工業品、軽工業品
	韓国	57,516	9,514	165	
	タイ	76,310	9,260	121	
	計	1,189,293	152,386	128	
アフリカ州	南アフリカ	423	119	281	金属機械工業品、化学工業品、農水産品
	エジプト	144	21	147	
ヨーロッパ州	ドイツ	7,576	1,433	189	金属機械工業品、農水産品、化学工業品
	ロシア	2,657	669	252	
	デンマーク	1,370	662	483	
	計	57,831	7,058	122	
大洋州	オーストラリア	43,787	9,210	210	農水産品、金属機械工業品、軽工業品
	ニュージーランド	1,866	238	128	
南アメリカ州	ブラジル	3,924	680	173	農水産品、金属機械工業品、特殊品
	チリ	1,588	136	86	
	アルゼンチン	303	79	260	
	計	6,918	955	138	
北アメリカ州	アメリカ	52,441	7,640	146	農水産品、金属機械工業品、軽工業品
	カナダ	21,735	3,003	138	
	メキシコ	137	24	178	
	計	74,602	10,720	144	
全世界	計	1,375,410	181,141	132	

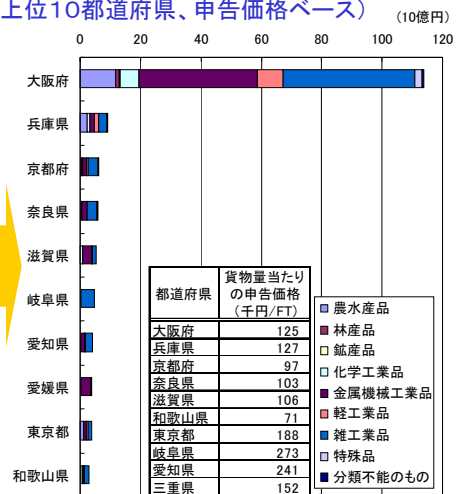
高額品類(全体平均の1.5倍以上)

南アフリカ: 金属機械工業品、デンマーク: 化学工業品と農水産品、

アルゼンチン: 農水産品、ロシア: 化学工業品、オーストラリア: 金属機械工業品

(資料) 国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

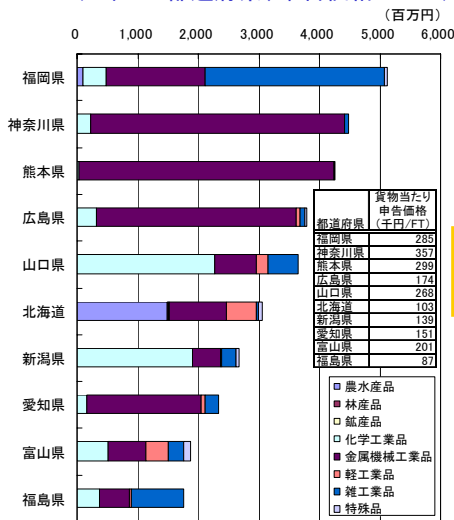
消費地別、品別申告価格合計
 (上位10都道府県、申告価格ベース)



(7) 釜山港にトランシップされるコンテナ貨物の分析（輸出）

・釜山港を経由する輸出コンテナ貨物における貨物量当たりの申告価格は、生産地別に見ると、神奈川県が最も高く、熊本県が続いている。
仕向国別に見ると、ブラジル、メキシコ、ベルギー、アメリカが高い。
→釜山港におけるトランシップは主に神奈川県や熊本県から単価の高い貨物が欧州や北アメリカへ輸出されている。
・中国へは単価の安い貨物が輸出・トランシップされている。

生産地別、品別申告価格合計
(上位10都道府県、申告価格ベース)



仕向地域・国別貨物量、申告価格、単価と上位品類

地域	仕向国	貨物量 (フレートトン)	申告価格 (百万円)	単価 (千円/FT)	上位品類
アジア州	中国	67,720	8,661	128	雑工業品、金属機械工業品、軽工業品
	香港	19,898	1,800	90	
	アラブ首長国連邦	18,901	2,321	123	
計		194,193	28,380	146	
アフリカ州	南アフリカ	3,956	495	125	金属機械工業品、雑工業品、化学工業品
	エジプト	976	209	215	
	計	6,498	1,303	201	
ヨーロッパ州	ベルギー	6,195	1,960	316	金属機械工業品、雑工業品、化学工業品
	トルコ	5,226	694	133	
	イタリア	3,696	736	199	
計		29,009	7,829	270	
大洋州	オーストラリア	6,659	1,324	199	雑工業品、金属機械工業品、化学工業品
	ニュージーランド	1,069	141	132	
	計	7,831	1,483	189	
南アメリカ州	コロンビア	9,926	1,075	108	金属機械工業品、雑工業品、化学工業品
	チリ	3,285	566	172	
	ブラジル	1,013	370	366	
計		17,531	2,492.011	142	
北アメリカ州	アメリカ	24,064	7,186	299	金属機械工業品、雑工業品、化学工業品
	カナダ	3,269	716	219	
	メキシコ	2,026	742	366	
計		31,534	8,928	283	
全世界	計	286,596	50,415	176	

高額品類(全体平均の1.5倍以上)

ベルギー: 雑工業品、ブラジル: 金属機械工業品、
メキシコ: 金属機械工業品、アメリカ: 農水産品

(資料)国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

(8) 釜山港をトランシップされるコンテナ貨物の分析（輸入）

・釜山港を経由する輸入コンテナ貨物の貨物量当たりの申告価格は、仕出国別に見ると、ロシアが最も高く、アルゼンチン、ニュージーランドが続いている。
消費地別に見ると、山口県が最も高く、神奈川県が続いている。
→釜山港におけるトランシップにおいては、主にアフリカ州や欧州から単価の高い貨物が山口県や神奈川県向けに輸入されている。
・中国からは単価の安い貨物がトランシップ・輸入されている。

仕出地域・国別貨物量、申告価格、単価と上位品類

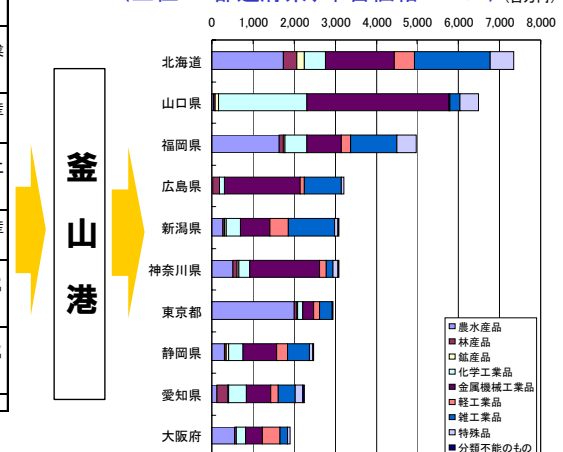
地域	仕出国	貨物量 (フレートトン)	申告価格 (百万円)	単価 (千円/FT)	上位品類
アジア州	中国	211,375	17,947	85	雑工業品、金属機械工業品、化学工業品
	タイ	40,499	3,834	95	
	インドネシア	32,085	3,360	105	
計		332,894	31,917	96	
アフリカ州	南アフリカ	7,049	1,005	143	金属機械工業品、農水産品、鉱産品
	エジプト	138	13	92	
	計	12,704	2,697	212	
ヨーロッパ州	ロシア	8,018	4,117	513	金属機械工業品、化学工業品、農水産品
	スウェーデン	18,469	768	42	
	フィンランド	11,917	740	62	
計		75,820	14,184	187	
大洋州	オーストラリア	12,504	1,453	116	金属機械工業品、農水産品、特殊品
	ニュージーランド	968	187	193	
	計	15,832	2,349	148	
南アメリカ州	チリ	10,246	979	96	農水産品、特殊品、金属機械工業品
	ブラジル	6,356	918	144	
	アルゼンチン	1,411	310	220	
計		25,857	2,833	110	
北アメリカ州	アメリカ	62,040	6,724	108	農水産品、特殊品、金属機械工業品
	カナダ	15,546	832	54	
	メキシコ	2,791	398	143	
計		80,719	8,056	100	
全世界	計	543,826	62,037	114	

高額品類(全体平均の1.5倍以上)

南アフリカ: 金属機械工業品、デンマーク: 化学工業品と農水産品、
アルゼンチン: 農水産品、ロシア: 化学工業品、オーストラリア: 金属機械工業品

(資料)国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

消費地別、品別申告価格合計
(上位10都道府県、申告価格ベース)



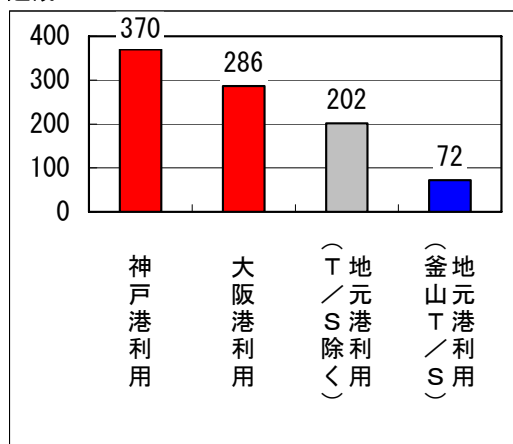
(9) 釜山港トランシップと地元港湾利用貨物の分析

①輸出

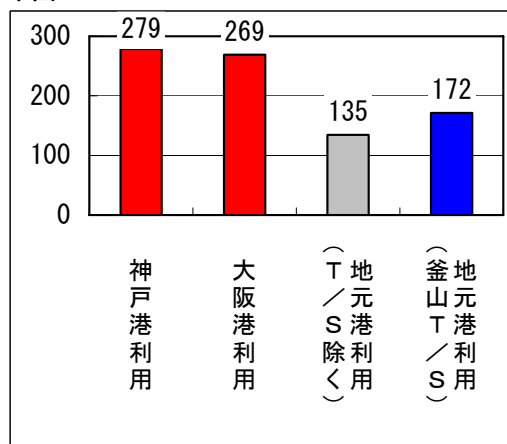
- ・西日本の輸出コンテナは、生産地に関わらず、神戸港・大阪港に高い貨物が集まる傾向にある。
- ・地元の港湾や釜山港には、比較的安い貨物が集まる傾向がある。

西日本の生産地別船積港別取扱量当たりの申告価格(千円/フレートトン)

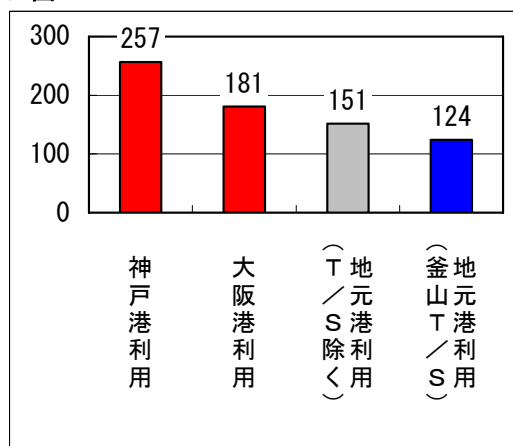
近畿



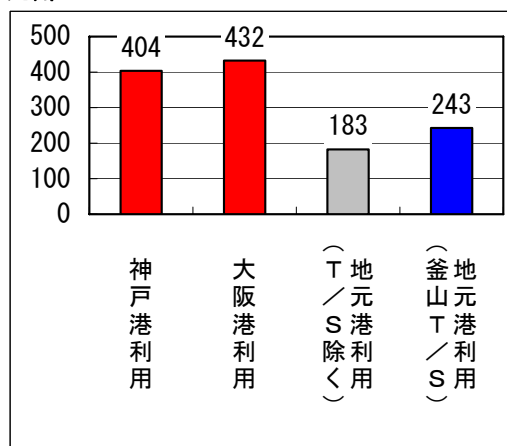
中国



四国



九州



●近畿の地元港

堺泉北港、敦賀港、姫路港、舞鶴港、和歌山下津港

●中国の地元港

下関港、岩国港、境港、呉港、広島港、三田尻中関港、水島港、徳山下松港、浜田港、福山港

●四国の地元港

高松港、高知港、今治港、三島川之江港、松山港、徳島小松島港

●九州の地元港

伊万里港、宇部港、熊本港、細島港、志布志港、大分港、長崎港、唐津港、博多港、八代港、北九州港、油津港

(注) 神戸・大阪港利用とは、神戸港・大阪港を船積港として、トランシップさせず、直接輸出される貨物。
 地元港利用(釜山T/S)とは、各地方内の港を船積港として、釜山港でトランシップし輸出される貨物。
 地元港利用(T/S除外)とは、各地方内の港を船積港として、トランシップされず、直接輸出される貨物。
 なお、近畿の地元港利用は、阪神港を除く。

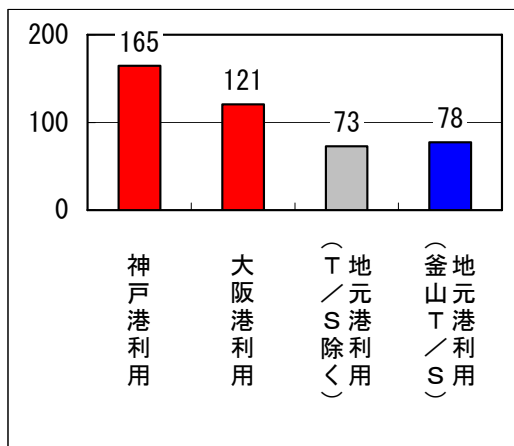
(資料) 国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

②輸入

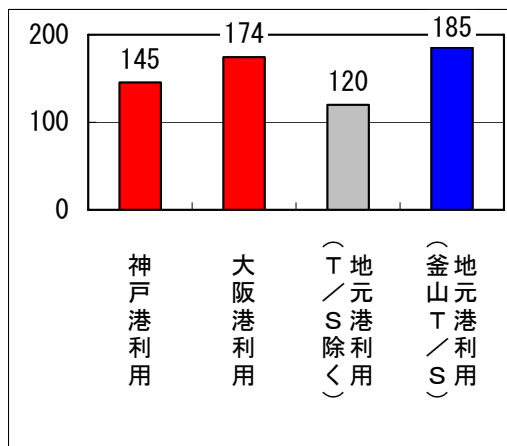
・輸入コンテナにおいても、輸出コンテナと同様に、神戸港、大阪港に比較的高価な貨物が集まる傾向がうかがわれる。

西日本の消費地別船卸港別、取扱量当たりの申告価格(千円/フレートトン)

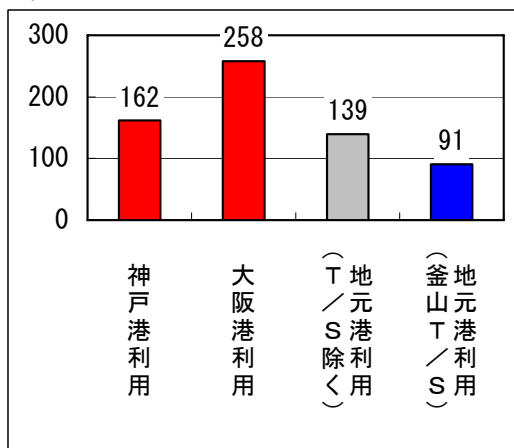
近畿



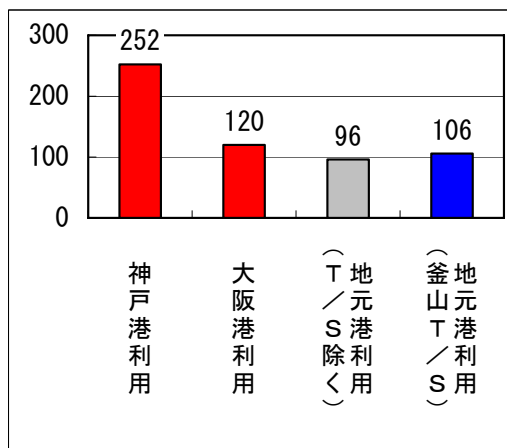
中国



四国



九州



●近畿の地元港

堺泉北港、敦賀港、姫路港、舞鶴港、和歌山下津港

●中国の地元港

下関港、岩国港、境港、呉港、広島港、三田尻中関港、水島港、徳山下松港、浜田港、福山港

●四国の地元港

高松港、高知港、今治港、三島川之江港、松山港、徳島小松島港

●九州の地元港

伊万里港、宇部港、熊本港、細島港、志布志港、大分港、長崎港、唐津港、博多港、八代港、北九州港、油津港

(注)神戸・大阪港利用とは、神戸港・大阪港を船卸港として、トランシップさせず、直接輸入される貨物。
 地元港利用(釜山T/S)とは、各地方内の港を船卸港として、釜山港でトランシップし輸入される貨物。
 地元港利用(T/S除く)とは、各地方内の港を船卸港として、トランシップされず、直接輸入される貨物。
 なお、近畿の地元港利用は、阪神港を除く。

(資料)国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

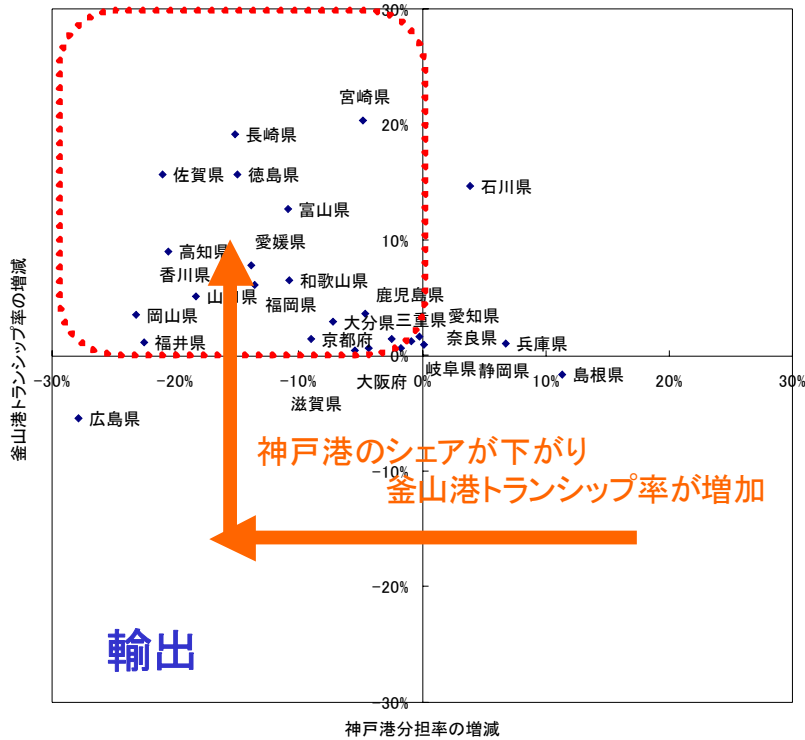
2.5 神戸港における内航フィーダー貨物の流動

神戸港における内航フィーダー貨物の動向について以下に示す。

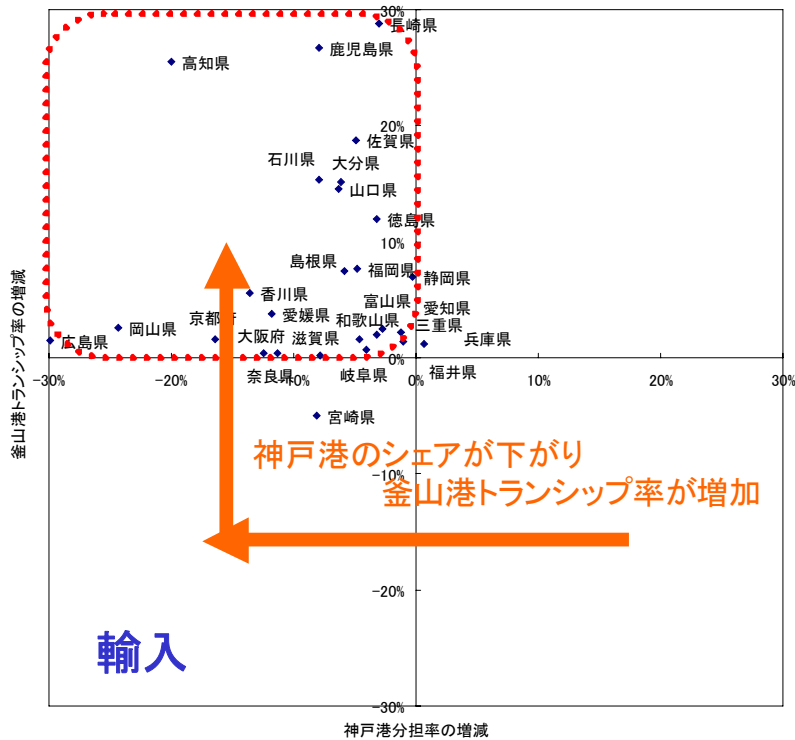
(1) 神戸港分担率と釜山港トランシップ率

・神戸港の分担率が低下し、かわりに釜山港トランシップ率が増加している。

生産地別の神戸港分担率と釜山港トランシップ率の増減(平成10～15年)



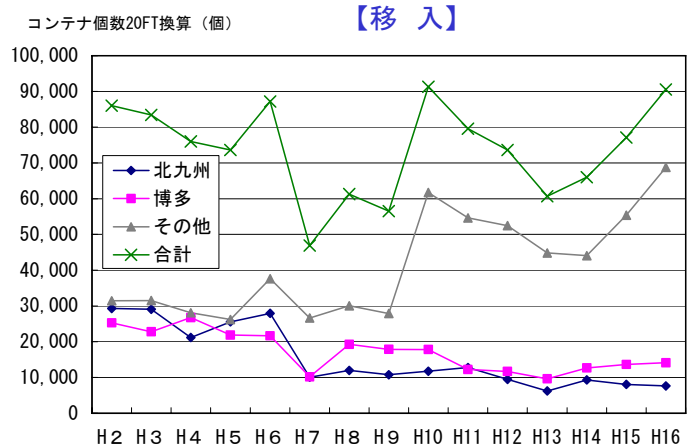
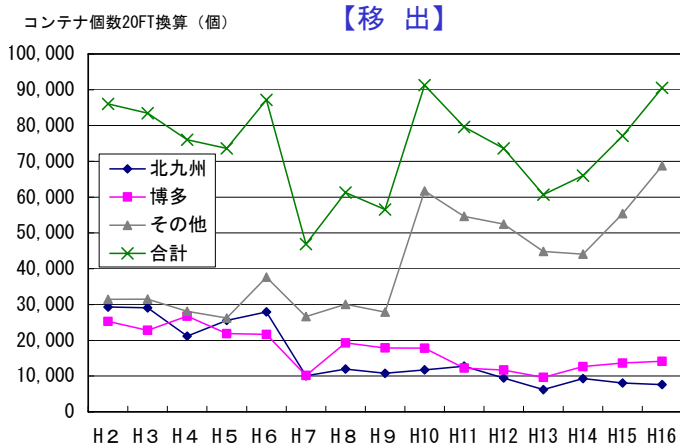
消費地別の神戸港分担率と釜山港トランシップ率の増減(平成10～15年)



(資料)国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成10、15年)より作成

(2) 神戸港における内航フィーダー貨物の増加 (TEU ベース)

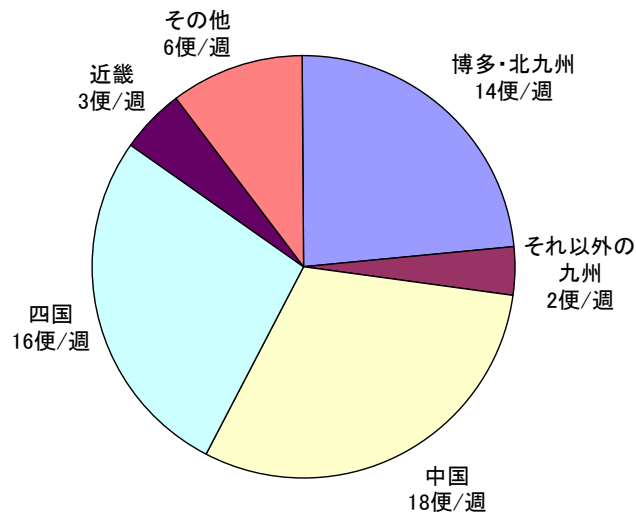
- ・平成 13 年以降、神戸港の内航フィーダー貨物は急増している。方面別で見ると、北九州と博多を除く方面である。
- ・サービス頻度で見た場合、瀬戸内方面が神戸港内航フィーダーの約 6 割を占める。



神戸港の内航フィーダーの方面別取扱コンテナ個数の推移

(注) その他とは、大分、細島、志布島、宇部、三田尻中関、岩国、徳山、広島(海田)、水島、岡山、今治、松山、新居浜、伊予三島、詫間、高松、姫路、大阪、四日市、名古屋、清水、東京、横浜、日立

(資料) 神戸市みなと総局「神戸港大観」



神戸港内航フィーダーの方面別サービス頻度

(資料) 神戸市みなと総局 HP、平成 17 年 4 月

(参考) 神戸新聞(2006/04/07)

西日本の各港と神戸港を運ぶ内航フィーダー(外国貿易コンテナの国内二次輸送)も好調だ。2004年の輸送量は通常の20フィートコンテナで約19万7千個分と、1994年比19%増になった。

業界大手の井本商運(神戸市)は、2005年の神戸港での取り扱い貨物量が前年比で2割増えた。釜山に流れた欧米向け貨物の一部が「人件費や燃料費の高騰で釜山までの運賃が上がり、神戸に戻っている」という。

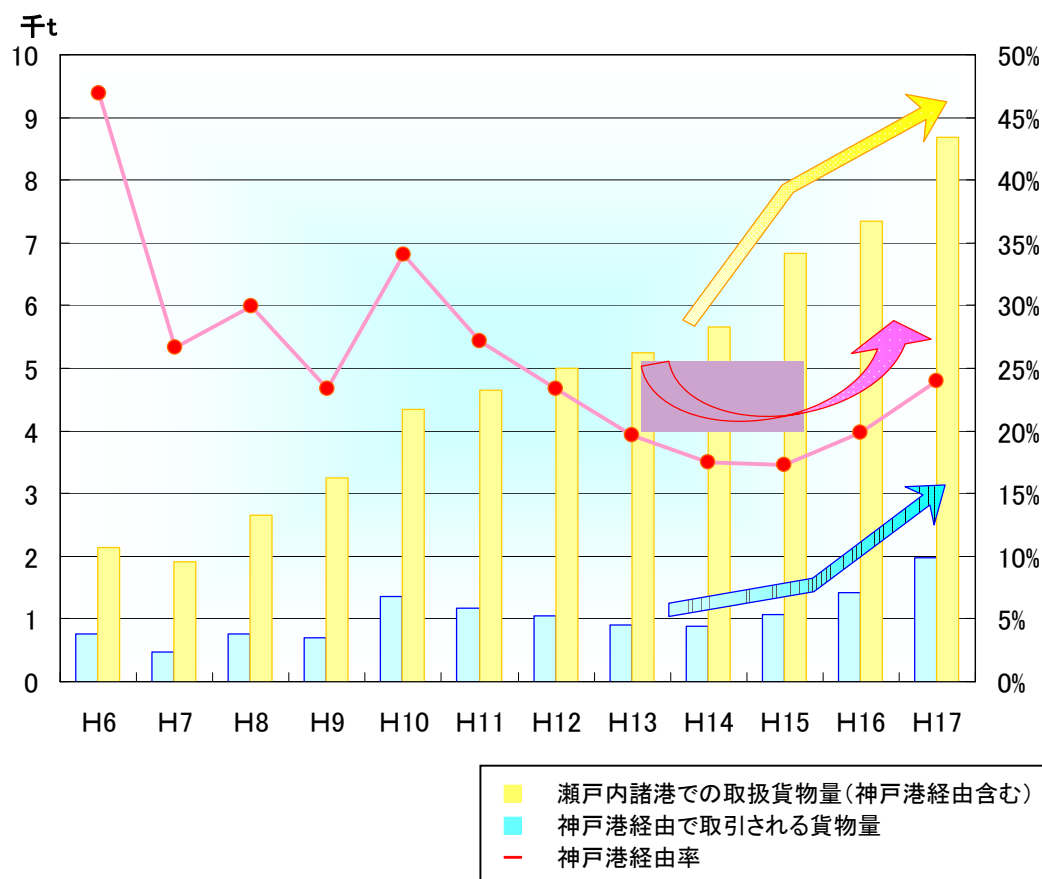
(3) 瀬戸内諸港の神戸港経由率の推移

- ・震災以降、瀬戸内諸港から神戸港を経由して海外と取引される貨物量は微増減を繰り返していたが、近年に増加に転じている。
- ・一方、瀬戸内諸港での取扱貨物量は着実に増加している。
- ・これらの伸び率の違いにより、神戸港経由率が低下していたが、近年回復傾向を示している。

年次	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
瀬戸内諸港での取扱貨物量	1,641	1,770	2,514	2,981	3,992	4,335	4,478	4,612	5,091	6,231	7,189	8,263
瀬戸内諸港から直接取引される貨物	871	1,299	1,762	2,284	2,632	3,158	3,434	3,708	4,200	5,155	5,765	6,281
神戸港経由で取引される貨物	770	471	752	697	1,360	1,177	1,044	904	891	1,076	1,424	1,982
神戸港経由率	46.92%	26.61%	29.91%	23.38%	34.07%	27.15%	23.31%	19.60%	17.50%	17.27%	19.81%	23.99%

(資料) 港湾管理者調べ

瀬戸内諸港の神戸港寄港率と神戸港経由の貨物量



神戸港経由率とは・・・

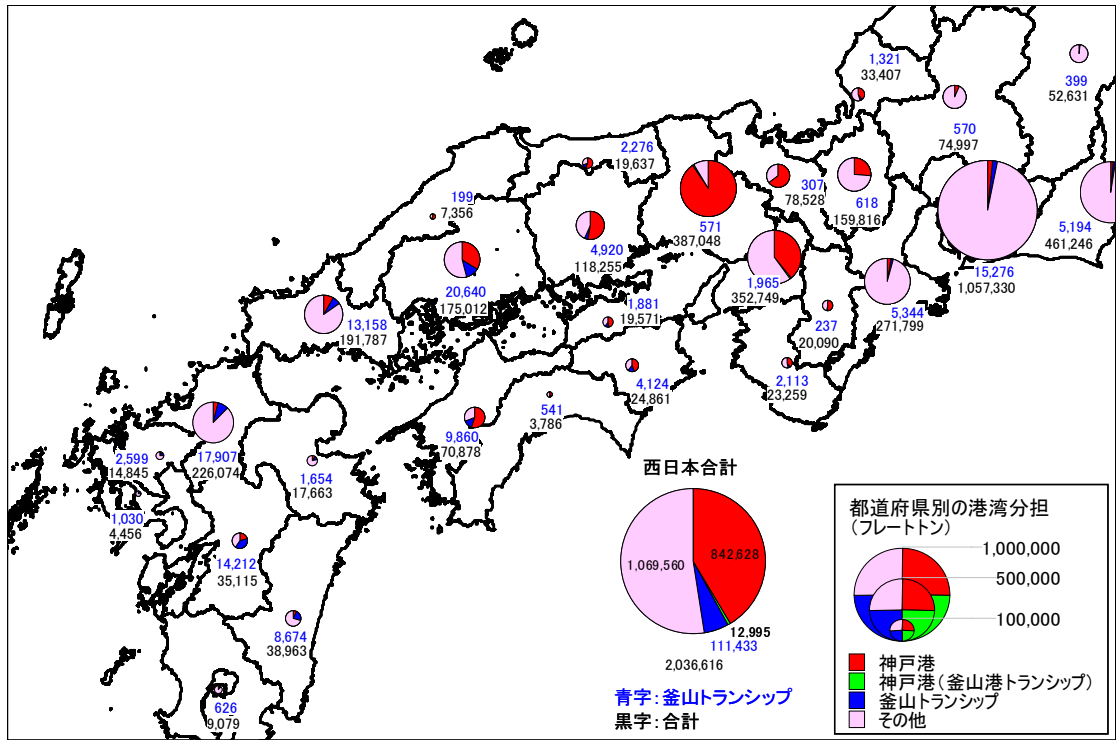
神戸港を経由して海外と取引される貨物量 / 海外と取引される瀬戸内諸港の総貨物量

(4) 西日本の潜在的な内航フィーダー貨物量

①輸出

・釜山港トランシップのコンテナ貨物を潜在的な内航フィーダー貨物とすれば、西日本からの輸出貨物においては約 111 千トン。

生産地(府県)別コンテナ貨物量の神戸港と釜山港トランシップの分担量

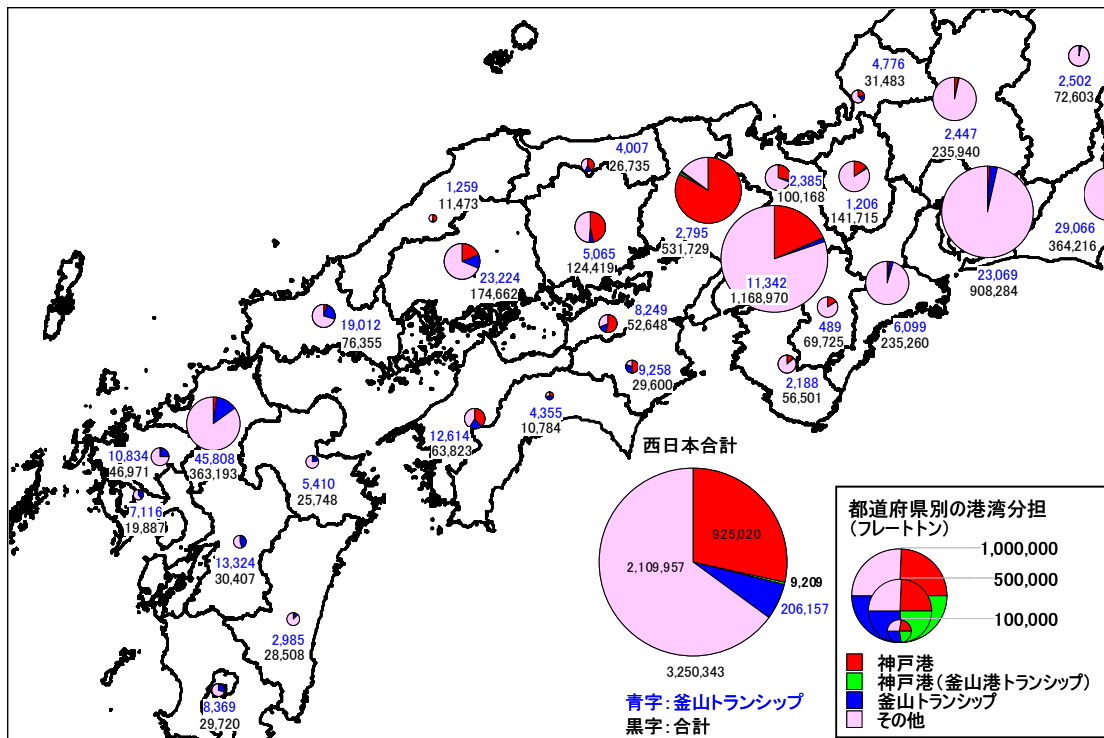


(資料)国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

②輸入

・釜山港トランシップのコンテナ貨物を潜在的な内航フィーダー貨物とすれば、西日本への輸入貨物においては約 206 千トン。

消費地(府県)別コンテナ貨物量の神戸港と釜山港トランシップの分担量

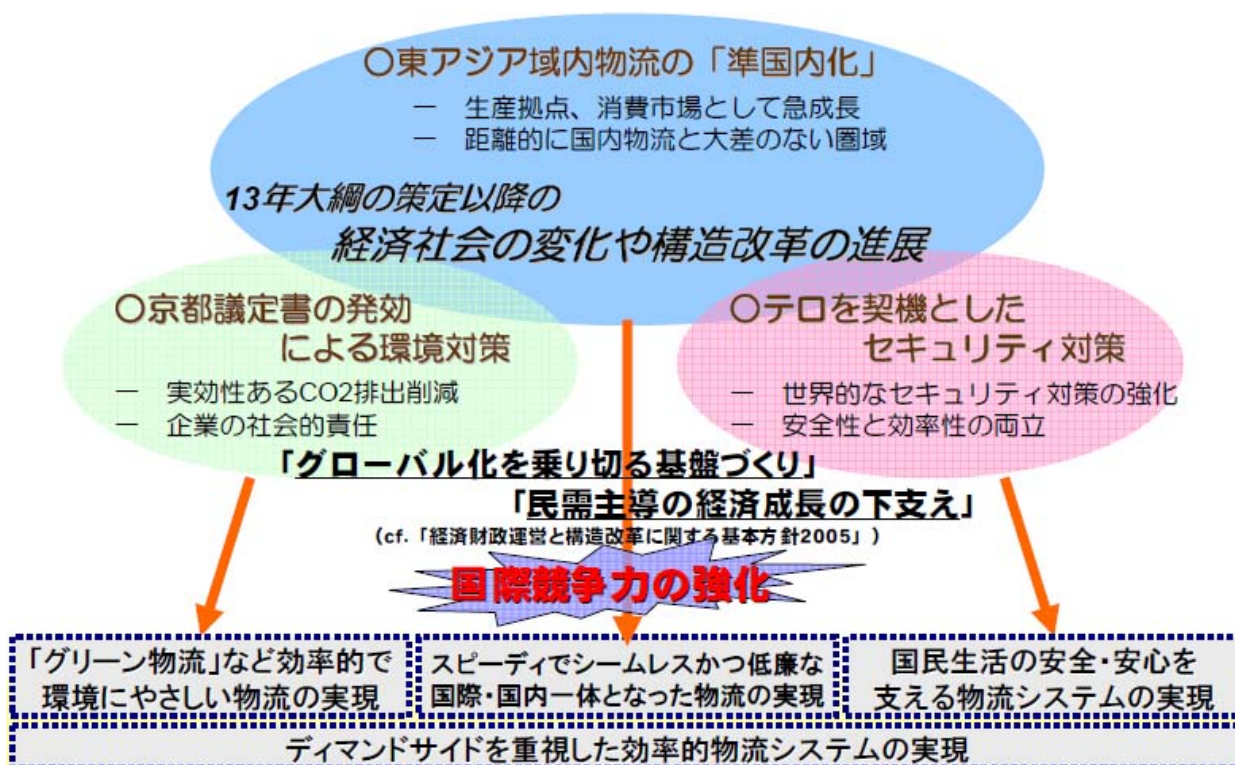


(資料)国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(平成15年)より作成

2.6 最近の物流関連施策動向等

国際物流に関連した最近の施策動向について以下に示す。

(1) 総合物流施策大綱(2005-2009)



PLAN：関係省庁の関係局長等による会議において、今後推進すべき具体的施策をとりまとめ

- | | | |
|------------------------------------|--|---|
| ○グリーン物流の推進
・グリーン物流パートナーシップ会議の活用 | ○国際拠点港湾・空港の機能向上
・スーパー中核港湾における基幹航路確保策
・大都市圏拠点空港の整備・活用 | ・物流セキュリティの確保
・交通安全の確保
・災害時の適確な対応
・消費者ニーズに応じた流通システム及び食の安全・信頼の確保 |
| ○貨物交通のマネジメントの推進
・適切な経路・時間帯への誘導 | ○国内外の物流ネットワークの構築
・陸海空の輸送モードの有機的連携 | |
| ○情報化・標準化の推進 | ○国際物流におけるロジスティクス機能の高度化 | |
| ○物流効率化を支える人材の育成等 | | |
| ○物流事業に関する施策のあり方の検討 | | |

DO：物流関係者が連携・協働しながら、取組の効果が最大限発揮されるよう推進

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 荷主企業と物流企業の連携・協働 | …パートナーシップの構築による社会的課題への適確な対応 |
| 地域の関係者の連携・協働 | …関係行政機関、民間企業等の参画によるボトルネックの抽出と解消 |
| 関係省庁の連携・協働 | …物流システムの全体効率化に向けた施策の総合的・一体的な推進 |

CHECK：指標を用いながら施策の進捗状況を把握し、フォローアップ

- 平成17年度末を目途に、指標ごとの目標設定を行うとともに、適宜指標を追加

ACTION：フォローアップ結果を踏まえ、施策の見直し・拡充強化等を検討

施策に
フィードバック